

2026年 秋季大会

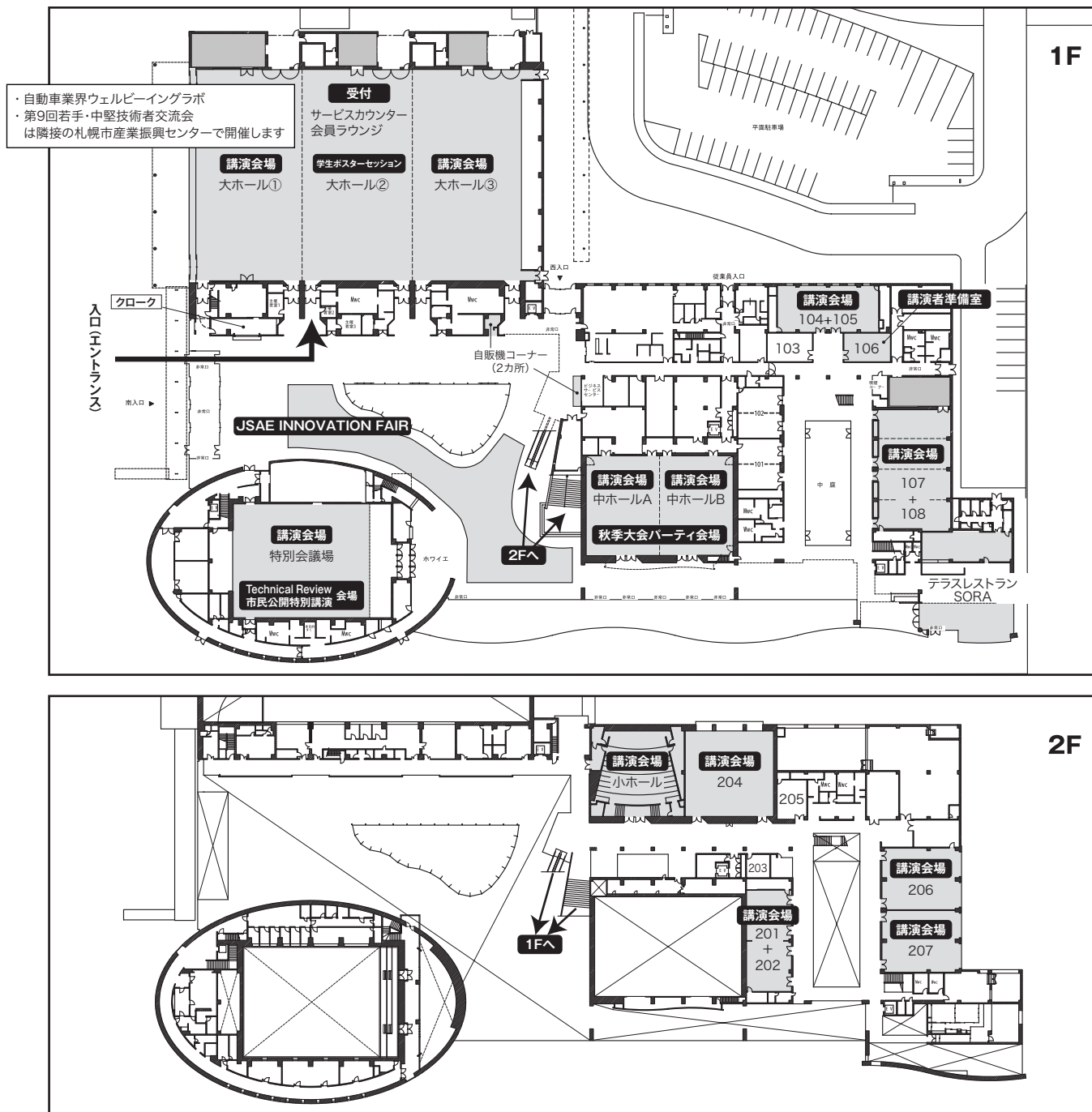
ファイナルプログラム

会期: 2026年10月14日(水)～16日(金)

会場: 札幌コンベンションセンター

主催: 公益社団法人自動車技術会

会場案内図



会場周辺地図



2026年秋季大会

会期：2026年10月14日(水)～16日(金)
会場：札幌コンベンションセンター

2026年10月14日

会 員 各 位

公益社団法人自動車技術会
会 長 中嶋 裕樹

2026年秋季大会を、北海道支部の多大なご協力のもと、10月14日(水)から16日(金)までの3日間、札幌コンベンションセンターにて開催いたします。

本大会におきましては、学術講演会(85セッション、416講演)をはじめ、Technical Review、北海道支部企画による市民公開特別講演、学生ポスターセッション、さらに3回目を迎える秋季大会展示会「JSAE INNOVATION FAIR 2026」など、多彩なプログラムを多数予定しております。多くの皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。



目 次

大会概要・各窓口の開設時間	2,3
各イベントのご案内	4-6
タイムテーブル 10月14日(水)	8,9
タイムテーブル 10月15日(木)	10,11
タイムテーブル 10月16日(金)	12,13
学術講演会プログラム 10月14日(水)	14-20
学術講演会プログラム 10月15日(木)	21-24
学術講演会プログラム 10月16日(金)	24-30

2026年秋季大会概要

催事名	実施方法	参加登録／参加費	14日(水)	15日(木)	16日(金)
① 学術講演会	実地+後日録画配信	要／有料 ※参加資格により参加費が異なります	●	●	●
② Technical Review	実地	不要／無料 (学術講演会参加者対象)		●	
③ 市民公開特別講演	実地	不要／無料 (一般参加可)		●	
④ 秋季大会パーティ	実地	別途要／有料 ※参加資格により参加費が異なります		●	
⑤ 第12回学生ポスターセッション	実地	不要／無料 (学術講演会参加者対象)	●	●	●
⑥ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 自動車業界ウェルビーイングラボ委員会	実地+オンライン	別途要／無料 (一般参加可)		●	
⑦ 第9回若手・中堅技術者交流会	実地	別途要／無料 (39才以下の正会員対象)			●
⑧ JSAE INNOVATION FAIR 2026	実地	不要／無料 (学術講演会参加者対象)	●	●	●

2026 年秋季大会ウェブサイト  <https://www.jsae.or.jp/taikai/2026aki/>

学術講演会について

2026 年秋季大会学術講演会は、実地開催のみとなります。

また、講演者の許可を得た講演は後日録画配信でご視聴いただけます。

- ① 実地会場で聴講される方は、必ず大会ウェブサイトで事前に参加登録を行ってください。
当日会場での受付は行っておりませんのでご注意ください。
- ② 参加登録者の特典は以下のとおりです。
 - ・講演予稿集の閲覧、ダウンロード
 - ・後日録画配信による講演の視聴
- ③ 後日録画配信は大会終了後、10月26日(月) から11月30日(月) の期間で公開いたします。
- ④ 配信期間中も参加登録を受け付けます。参加登録費は通常参加登録費と同額です。
※詳細は、上記の秋季大会ウェブサイトをご覧ください。

学術講演会講演予稿集

学術講演会の参加登録費には講演予稿集が含まれます。

入手方法：

電子ファイル形式での提供となります。

聴講者専用ページから「学術講演会」にアクセスいただきダウンロードください。

※聴講者専用ページは参加登録完了時に送信されるメールよりアクセスいただけます。

※予稿集の公開は10月9日(金) 午前10:00を予定しております。

各窓口の開設時間 ※表紙の会場案内図をご参照ください

10月14日(水)

受付 ・イベント参加 QR コード読取	大ホール②	8:00~18:00
サービスカウンター	大ホール②	8:00~19:00
クローク	エントランスホール	8:00~19:45
JSAE 会員ラウンジ	大ホール②	8:00~18:00

10月15日(木)

受付 ・イベント参加 QR コード読取	大ホール②	8:30~15:00
サービスカウンター	大ホール②	8:30~16:00
クローク	エントランスホール	8:30~16:15 ※パーティ参加者のみ 16:15~19:00
JSAE 会員ラウンジ	大ホール②	8:30~16:00

10月16日(金)

受付 ・イベント参加 QR コード読取	大ホール②	8:30~17:00
サービスカウンター	大ホール②	8:30~18:00
クローク	エントランスホール	8:30~18:15
JSAE 会員ラウンジ	大ホール②	8:30~16:00

周辺の飲食店、お店情報



参加者へのご案内

① 学術講演会

有料／参加登録要

10月14日(水)～16日(金) 各講演会場

85 セッション・416 講演 ※最新の状況はウェブサイトをご覧ください。

タイムテーブル (随時更新) : <http://gakkai-web.net/jsae/a/2026/program>

	早期参加登録	通常参加登録
登録期間	8月中旬～10月5日(月)	10月6日(火)～11月30日(月)
登録方法	ウェブサイトより事前登録のみ	ウェブサイトより事前登録のみ
参加登録費 正会員 学生会員 賛助会員・一般	8,000 円 (不課税) 3,000 円 (不課税) 22,000 円 (税込)	10,000 円 (不課税) 3,000 円 (不課税) 24,200 円 (税込)
支払方法	①クレジットカード決済 ②銀行振込 ③コンビニ決済	クレジットカード決済
支払期限日	①～③すべて 10月5日(月) ※期限日までに支払が完了しなかった場合、 お申込は無効となります	登録時
キャンセル時の返金	10月5日(月) まで全額返金 ※返金手数料除く	返金なし

※現地での当日参加登録受付は実施いたしません。

② Technical Review

無料／参加登録不要／学術講演会参加者対象

10月15日(木) 14:30-16:00 札幌コンベンションセンター 特別会議場

災害レジリエンス時代のモビリティ ―車は“移動手段”から“社会インフラ”へ―

講演① 14:30-15:15

日常のクルマ使いから考える電動車の社会インフラとしての可能性

―地域・個人・世帯の属性を踏まえて―

講演者：谷口 守氏 (日本交通計画協会／筑波大学名誉教授)

大規模災害時には電力供給の途絶により、被災地での暮らしや復旧に大きな負荷が生じる。一方で、電気自動車の普及に伴い、蓄電池に蓄えられた電力を日常時に加えて発災時に有効活用できることも指摘されている。

本発表では電気自動車と太陽光パネルの普及に伴い、日常のクルマ使いの中で各世帯がどれだけ再生可能エネルギー由来の蓄電ポテンシャルを有するかを提示する。

試算においては、各世帯における実際の交通行動に基づく自動車保有・利用状況、充電可能時間、日照条件等、住区スケールでの条件の違いや技術革新の影響を考慮する。

分析の結果、ポテンシャルを高めるうえでの具体的な要因を明らかにするとともに、系統回路から独立したサテライト型スマートタウンの成立可能性についても言及する。



講演② 15:15-16:00

走る蓄電池が社会を支える —EV のインフラ価値と社会実装への課題—

講演者：池添 圭吾 氏（日産自動車）

EV は大容量蓄電池を備え、移動手段に加えて、災害時の非常用電源、再エネ余剰の活用、再エネ変動を吸収する調整力など、多面的な社会インフラ機能としての期待が大きい。日本の乗用車保有台数の 50% が EV となれば、その蓄電容量は日本全体の電力量の約半分にも相当する。

一方で、EV を電力インフラとして活用するためには、その接続不確実性や運用における事業性などで課題が残る。本講演では、それらの課題を解説するとともに、社会実装に向けた方策について考察する。

司会：大門 樹 氏（慶應義塾大学／学術講演会運営委員会委員長）

企画：学術講演会運営委員会

※学術講演会にご登録いただいている方は別途登録は不要です。



③ 市民公開特別講演

無料／参加登録不要／一般参加可

10月15日(木) 16:15-17:15 札幌コンベンションセンター 特別会議場

北海道から拓く宇宙輸送の未来 —宇宙港、ものづくり、地域連携—

講師：内海 政春 氏（室蘭工業大学）

司会：秀 正幹 氏（トヨタ自動車北海道／自動車技術会 北海道支部長）

企画：自動車技術会 北海道支部

講演要旨：宇宙利用は、衛星コンステレーション、宇宙旅行、月惑星探査、さらには地球上の高速輸送構想へと広がり、宇宙輸送システムには高頻度・高信頼・低コスト化が求められている。本講演では、ロケット開発の基礎と民間主導による宇宙ビジネスの変化を概観したうえで、将来の宇宙輸送システムの方向性を考える。特に、広大な土地、海域、航空宇宙関連企業、ものづくり基盤を有する北海道が、宇宙港（スペースポート）、試験・製造、人材育成の拠点として果たし得る役割に着目する。また、自動車産業が培ってきた技術や知見との連携の可能性についてお話しします。

※学術講演会にご登録いただいている方は別途登録は不要です。



④ 秋季大会パーティ

有料／登録要

10月15日(木) 17:30-19:00 札幌コンベンションセンター 中ホールA+B

参加費	
正 会 員	8,000 円（税込）
学生会員	3,000 円（税込）
一 般	10,000 円（税込）

※ 10 月 6 日（火）以降はキャンセル不可となります。

⑤ 第12回学生ポスターセッション

無料／参加登録不要／学術講演会参加者対象

10月14日(水)～16日(金)10:00-16:00 札幌コンベンションセンター 大ホール②

<https://www.jsae.or.jp/taikai/2026aki/student-poster-entry/>

大学生・大学院生・高等専門学校生の皆様に、専門の研究内容をポスター形式で発表・プレゼンテーションしていただく学術発表セッションです。

ポスター発表を通じて、学生と企業のエンジニア、研究者の方、また学生同士の交流および人材育成の場・機会を提供します。

優れた発表には優秀賞を授与いたします。本賞は、企画委員等（メンター）による審査に加え、一般来場者の皆様からの投票も交えて決定いたします。投票用紙は会場にて配布いたしますので、ぜひ学生たちの熱意あるプレゼンテーションをご覧ください、投票にご参加ください。

また、会場では各発表の概要 PDF のダウンロード QR コードも配布しております。皆様のご来場をお待ちしております。

※ポスターセッション会場へのご来場は 2026 年秋季大会（有料）への参加登録が必要です。

企画：教育会議 学生活動企画委員会

ポスター発表一覧

No.	分野	発表テーマ名	所属	氏名
1	熱機関	希薄予混合圧縮着火燃焼領域を広げるプレチャンバ火炎の効果	琉球大学大学院	加賀 政宗
2	熱機関	多種燃料における排気性能改善	愛知工業大学大学院	栗田 健聖
3	熱機関	高圧噴射における多種燃料の噴霧特性解析	愛知工業大学大学院	大西 凌馬
4	振動・騒音・乗り心地	フレームストラドルリングを用いた転動タイヤの速度場計測	高知工科大学	三輪 浩太郎
5	振動・騒音・乗り心地	圧縮センシング DIC を用いた回転時のタイヤ振動計測	高知工科大学	松村 晃汰
6	振動・騒音・乗り心地	圧縮センシングを用いたランダム加振試験における全視野振動計測手法の開発	高知工科大学大学院	谷澤 光心
7	振動・騒音・乗り心地	HV におけるラトルノイズの実験的及び解析的検証	大分大学大学院 鹿児島大学大学院	宮本大輔（共同発表者：山下 晃太郎、中村 太亮、鎌田 将）
8	振動・騒音・乗り心地	広域・非定常音響現象のためのマルチフィジックス同時計測・可視化システムの研究	岐阜大学大学院	竹原 大翔
9	振動・騒音・乗り心地	表面微細構造によるダクト曲がり部における境界層制御と空力騒音低減	岐阜大学大学院	野村 俊平
10	振動・騒音・乗り心地	磁気粘弾性エラストマを用いた半能動振動制御による自動車 NVH 性能向上の検討	岐阜大学大学院	祖父江 祐太
11	安全	運転適正状態からの逸脱検知に基づく運転中動作分類手法の検討	豊橋技術科学大学大学院	黒川 翔平
12	安全	手首装着型加速度センサにおける車両振動伝播特性の解析	豊橋技術科学大学工学研究院	佐渡山 颯太
13	安全	交通事故車両画像を用いた Delta-V と車両前面損傷変形の予測	日本大学	趙 奕卓
14	安全	電動キックボードの安全性向上に向けた簡易出力測定装置の改良	静岡理工科大学	山崎 脩晟
15	安全	人体モデルへの適用を目的とした代替動物内臓器の力学特性に関する研究	日本大学大学院	張 澤世
16	安全	衝突回避加速度を用いた対歩行者シナリオにおける自動運転の安全性評価	東京農工大学大学院	森 優介
17	安全	歩行者および自転車追い抜き時における安全運転診断アルゴリズムに関する研究	東京農工大学大学院	安永 大輝
18	安全	GPU を用いた非線形構造解析	山梨大学大学院	平井 楓真
19	安全	生成 AI による形状補間を用いた構造解析モデル生成の基礎検討	山梨大学大学院	高橋 玄武
20	安全	否定的な感情が運転行動へ及ぼす影響の解明と運転者の状態に応じた支援に関する研究	岐阜大学大学院	田口 華梨

No.	分野	発表テーマ名	所属	氏名
21	人間工学	自動車急制動時における乗員の着座姿勢変化と身体的特性の関係	新潟大学大学院	齋藤 友陽
22	人間工学	若年ドライバにおける運転中のマルチタスク遂行の影響とその個人差	京都工芸繊維大学	江藤 健士朗
23	人間工学	「相棒」と感じられる車両の実現に向けた探索的検討 —車と馬との関係形成過程に着目して—	京都工芸繊維大学大学院	研谷 彩花
24	人間工学	左右の耳・音楽のテンポによる運転タスクへの影響	新潟大学大学院	Nurfatin Shahirah Binti Zulkifli
25	人間工学	複数の生理指標を用いたドライバ覚醒度推定手法に関する研究 —CNNとTransformerを用いた深層学習モデルの推定精度および説明可能性の検討—	神奈川工科大学大学院	小椋 優太
26	人間工学	触覚と聴覚のクロスモーダル効果を用いたタッチパネル型ユーザインタフェースの検討	東京都立産業技術高等専門学校	秋山 功匠
27	人間工学	交通空白地域におけるデマンド交通の停留所環境の現状分析と改善	東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス	吉谷 隼摩
28	熱・流体	マイクロ遠心ファンの性能に関する研究 —舌部形状の違いが性能特性に及ぼす影響について—	法政大学大学院	醍醐 和希
29	熱・流体	ターボチャージャー用遠心圧縮機の性能に関する研究 —吹込みノズルの先端形状の違いが性能に及ぼす影響—	法政大学大学院	岡田 尚
30	熱・流体	グラフニューラルネットワークを用いた自動車用リアウイングの設計手法開発	近畿大学大学院	中村 康貴
31	環境・エネルギー・資源	車載用全固体電池搭載を目指した正極活物質の超高容量化を目指した有機構造の検討	米子工業高等専門学校	中島 悠太
32	環境・エネルギー・資源	パリ協定に基づく小型電気トラック走行の LCA 予測	関東学院大学	氏家 優凜
33	エレクトロニクス 及び制御	力覚ナッジと安全フィルタの二段構成による運転技能向上支援	慶應義塾大学大学院	森田 莉菜
34	エレクトロニクス 及び制御	交通流安定化のための階層型運転支援システム	慶應義塾大学大学院	入江 颯
35	エレクトロニクス 及び制御	Laguerre-MPPI による経路計画	慶應義塾大学	田堀 祐介
36	情報・通信 及び知能化	自動運転におけるワールドモデルの予測品質が VLA の軌道生成に与える影響の評価	岐阜大学大学院	高倉 圭太郎
37	ソフトウェアと その要素技術	RC カー飛び出しシナリオにおけるイベントカメラおよび人間の危険反応時間比較評価に関する研究	岐阜大学大学院	田中 新太
38	ソフトウェアと その要素技術	シミュレータ走行を用いた生成 HD マップの評価システムの構築	岐阜大学大学院	林 隼人
39	その他の モビリティ	シミュレータを用いた VLA 向け運転判断理由データ生成パイプラインの構築	岐阜大学大学院	浜田 義正

⑥ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 自動車業界ウェルビーイングラボ委員会

無料／登録要／一般参加可

10月15日(木) 12:30-15:00 札幌市産業振興センター 技能訓練棟3F セミナールーム1

すべての人がいきいきと働くために、働くうえでの“ウェルビーイング”についての講演および意見交換を実施します。
オンライン参加も可能です。奮ってご参加ください！

※詳細は当会ホームページ（<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/woman/>）をご確認ください。

⑦ 第9回若手・中堅技術者交流会

無料／登録要／39才以下正会員対象

10月16日(金) 10:00～17:00 札幌市産業振興センター 技能訓練棟3F セミナールーム1

本交流会は、同業他社や異業種の会員との交流を通じて、自身の価値観との違いに気づいてもらうことを目的としています。
テーマを「企業・産業・世代の枠を超えて、ネットワークを広げよう！」とし、グループディスカッションを行います。

対象：39歳以下の正会員

企画：総務委員会

詳細は当会ホームページ（https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/young/event_9/）をご確認ください。

⑧ JSAE INNOVATION FAIR 2026

無料／参加登録不要／学術講演会参加者対象

10月14日(水)～16日(金) 9:30～17:00 ※最終日16日(金)は16:00まで 札幌コンベンションセンター エントランスホール

「JSAE INNOVATION FAIR」は、自動車業界にとどまらず、情報通信技術やソフトウェアなど、最先端の技術を持つ企業・団体の皆様にも、1小間単位で気軽にご出展いただける展示イベントです。

本フェアは、ICTやソフトウェア技術など新分野の企業・団体が、自動車業界へ新たなアプローチを行う場として回を重ねてまいりました。出展社数も第1回の20社、第2回の24社から着実に拡大しており、本年で第3回を迎えます。

技術の出会い、情報の交差点。

ぜひお気軽にお立ち寄りください！

<出展企業>

1	旭化成株式会社	17	株式会社東レリサーチセンター
2	イメージ・システムズ・ジャパン株式会社	18	トヨタ自動車株式会社
3	インタークロス株式会社	19	トヨタ自動車北海道株式会社
4	株式会社 HPC テック	20	日鉄テクノロジー株式会社
5	株式会社 AIS 北海道	21	日本発条株式会社
6	株式会社エリオニクス	22	ニュートンワークス株式会社
7	株式会社小野測器	23	株式会社ノビテック
8	株式会社構造計画研究所	24	パーソルクロステクノロジー株式会社
9	コンカレント日本株式会社	25	株式会社フォトロン
10	株式会社三五	26	プロメテック・ソフトウェア株式会社
11	サンゴバン株式会社	27	ベクター・ジャパン株式会社
12	SPACE COTAN 株式会社	28	ヘッドアコースティクスジャパン株式会社
13	株式会社ダイナックス	29	防衛装備庁
14	株式会社テック技販	30	ホットティンガー・ブリュエル・ケアー
15	東洋製罐グループホールディングス株式会社	31	株式会社守谷商会
16	東洋電機製造株式会社		

※五十音順

ランチョンセミナー

無料／別途参加登録要／学術講演会参加者対象

学術講演会参加者向けに「JSAE INNOVATION FAIR 2026」出展社によるセミナーを開催いたします。

※参加申し込みは 10 月 9 日（金）で締め切りとなりました。残席がある場合は開催日当日に、会場にて受付を実施いたします。

開催日	時間	講演会場	定員	主催企業・団体
10月14日(水)	10:55～11:25	2F 207	50	株式会社ダイナックス
	12:20～12:50	1F 104+105	50	株式会社東レリサーチセンター
	12:45～13:15	1F 107+108	50	ニュートンワークス株式会社
10月15日(木)	11:45～12:15	2F 204	50	旭化成株式会社
	12:20～12:50	1F 104+105	50	プロメテック・ソフトウェア株式会社
	12:20～12:50	1F 107+108	50	Gamma Technologies 合同会社

各講演の詳細はこちらの QR コードからご覧いただけます。



会員特典 !!JSAE 会員ラウンジへお越し下さい!

2026 年秋季大会会期中に会員特典である JSAE 会員ラウンジを開設致します。

会員特典として、個人会員の方は会員証を提示して JSAE 会員ラウンジに入室頂ければ、無料でコーヒー・紅茶・緑茶・水が飲み放題です。(セルフ方式)

会員ラウンジには電源タップも設置しておりますので、PC やスマートフォン等の充電やメールチェック等の作業も可能です。

また、お弁当等の飲食も可能です。セッションの合間や会員同士の交流にご利用下さい。

なお、当日 Web で入会申請頂ければその場で利用可能となりますので、非会員の方も是非この機会にご入会下さい。

39 歳以下の方なら今年度会費無料キャンペーン実施中で大変お得です！

会員証を持って JSAE 会員ラウンジへ Go ！

開設期間：10 月 14 日（水）～ 16 日（金）

開設時間：14 日 8:00～18:00

15 日 8:30～16:00

16 日 8:30～16:00

会 場：札幌コンベンションセンター 大ホール

提供内容：コーヒー、紅茶、緑茶、水、PC 電源



📅 10月14日(水) 2026年秋季大会タイムテーブル

会場	札幌コンベンションセンター						
	大ホール 1	大ホール 3	104+105	107+108	中ホール A	中ホール B	特別会議場
9:30	xEV・熱マネージメント 001 002 003 004 No. 93 講演件数:4件 11:10 12:10	水素エンジン 017 018 019 10分間休憩 020 021 022 No. 96 講演件数:6件	排出ガス・CO ₂ 低減 030 031 032 10分間休憩 033 034 035 No. 99 講演件数:6件	車両運動 I 045 046 047 10分間休憩 048 049 050 051 No. 102 講演件数:7件 12:35 ランチョンセミナー 12:45~13:15 13:45 車両運動 II 052 053 054* 055 056 No. 103 講演件数:5件 15:50 16:20 10分間休憩 060 061 062 No. 104 講演件数:6件 19:00	SLAM・生成 AI による設計支援 063 064 065* 066 No. 105 講演件数:4件 11:10 12:10 AI・データ解析と評価技術 067 068 069 070* No. 106 講演件数:4件 13:50 14:20 SIL/HIL・仮想 ECU 検証技術 071 072 073 10分間休憩 074 075 076	xEV バッテリーマネージメント 077 078 079 080 No. 108 講演件数:4件 11:10 12:10 xEV バッテリー技術 081 082* 083 084* 085 No. 109 講演件数:5件 14:15 14:45 FC・水素利用 086* 087* 088 No. 110 講演件数:3件 16:00	振動・騒音・乗り心地 I 089 090* 091 092 093 No. 111 講演件数:5件 11:35 12:35 振動・騒音・乗り心地 II 094 095 096 10分間休憩 097 098 099 No. 112 講演件数:6件 15:15 15:45 振動・騒音・乗り心地 III 100* 101 102 103 104 No. 113 講演件数:5件 17:50
13:00	xEV・インフラ協調 005 006 007 10分間休憩 008 009 010 No. 94 講演件数:6件	12:10 ランチョンセミナー 12:20~12:50 13:10 排気後処理 I 023 024 025 026 No. 97 講演件数:4件	13:20 新型機関・評価 036 037 038 No. 100 講演件数:3件 14:35 15:05 LCA・リユース・リサイクル 039 040 041 10分間休憩 042 043 044 No. 101 講演件数:6件 17:45				
15:00	14:50 15:20 xEV・エネルギーマネージメント 011 012 013 10分間休憩 014 015 016 No. 95 講演件数:6件 18:00	16:35 排気後処理 II 027 028 029 No. 98 講演件数:3件					
17:00							
18:00							
19:00							

- ☑ 講演時間：原則として 25 分 / 1 講演 (15 分, 質疑など 10 分)
- ☑ 本タイムテーブルは 2026 年 9 月 9 日付の申込データに基づき作成されたものです。この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性があります。予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は、英語講演です。
- ☑ 講演番号の隣の「★」は、後日配信がない講演です。
- ☑ 各講演会場に、講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております。優秀賞選出のため重要となりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

2026年9月現在

						札幌市産業振興センター 技能訓練棟3F セミナールーム1
201+202	204	206	207	小ホール	大ホール②	エントランス ホール
車両開発Ⅰ 105 106 107★	エレクトロニクスⅠ - センサ - 121 122 [123]★	ドライバ状態Ⅰ 134★ 135 136	自動車用材料Ⅰ 153 154 155★	高齢ドライバⅠ 164 165 166 167	10:00	J S A E I N N O V A T I O N F A I R 2026
10分間休憩	No. 117 講演件数:3件	10分間休憩	No. 123 講演件数:3件	No. 126 講演件数:4件	第12回学生ポスターセッション	
108 109 [110]★	10:45	137 138 139 140	10:45 ランチョンセミナー 10:55～11:25	11:10		
No. 114 講演件数:6件	11:45	No. 120 講演件数:7件	11:55 自動車用材料Ⅱ 156 157 158 159	12:10 エアコンディショナ 168 169 170		
12:10	エレクトロニクスⅡ - ECU - 124 125 126 127	12:35	No. 124 講演件数:4件	No. 127 講演件数:3件		
13:10	No. 118 講演件数:4件	13:35	13:35	13:25		
車両開発Ⅱ 111 112 113	13:25	ドライバ状態Ⅱ 141 142 143	14:05 自動車用材料Ⅲ 160★ [161] 162 163	13:55 冷媒 171★ 172 173 174 [175]★		
10分間休憩	13:55	10分間休憩	No. 125 講演件数:4件	No. 128 講演件数:5件		
114 [115] [116]★	エレクトロニクスⅢ - 評価技術 - 128 129 130	144 145 146★	15:45	16:00		
No. 115 講演件数:6件	10分間休憩	No. 121 講演件数:6件		16:00		
15:50	131 132 133	16:15		16:00		
16:20	No. 119 講演件数:6件	16:45 ドライバの安全行動Ⅰ 147 148 149★				
車両開発Ⅲ 117★ [118] [119] [120]★	16:35	10分間休憩				
No. 116 講演件数:4件		150 151 152★	No. 122 講演件数:6件			
18:00		19:25			17:00	

エンジン・後処理・
パワートレイン

車体・シャシ・
生産加工

ITS・人間工学

部品・材料

CAE/NV・計測・
流体

HV-PHV-EV

安 全

その他

各セッションの講演内容は p.14～34 をご確認ください。

📅 10月15日(木) 2026年秋季大会タイムテーブル

会場	札幌コンベンションセンター						
	大ホール 1	大ホール 3	104+105	107+108	中ホール A	中ホール B	特別会議場
9:30	熱・流体 I 176 ★ 177 178 179 No. 129 講演件数:4件	振動・騒音・乗り心地 IV 184 185 186 187 No. 131 講演件数:4件	安全一般 I 192 193 194 195 196 197 No. 133 講演件数:6件	xEV モータ技術 202 203 204 10分間休憩 205 206 207 No. 135 講演件数:6件	MBSE・要求分析・セーフティ 214 215 216 217 218 219 No. 137 講演件数:6件	高齢ドライバ II 220 221 222 No. 138 講演件数:4件 10:45	ガソリン燃焼 223 224 225 10分間休憩 226 227 ★ 228 No. 139 講演件数:6件
13:00	11:10		12:10		12:10		12:10
	熱・流体 II 180 181 182 183 ★ No. 130 講演件数:4件	振動・騒音・乗り心地 V 188 189 190 191 No. 132 講演件数:4件	ランチョンセミナー 12:20～12:50	ランチョンセミナー 12:20～12:50	13:20		
15:00	13:50		自動運転に係わる安全 198 199 200 201 No. 134 講演件数:4件 15:00	xEV システム技術 208 209 210 10分間休憩 211 212 213 No. 136 講演件数:6件 16:00			
					14:30		
17:00					Technical Review		
					16:00 16:15		
18:00					市民公開特別講演		
					17:15 17:30		
19:00					秋季大会パーティ		
					19:00		

- ☑ 講演時間：原則として 25 分 / 1 講演 (15 分, 質疑など 10 分)
- ☑ 本タイムテーブルは 2026 年 9 月 9 日付の申込データに基づき作成されたものです。この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性があります。予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は、英語講演です。
- ☑ 講演番号の隣の「★」は、後日配信がない講演です。
- ☑ 各講演会場に、講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております。優秀賞選出のため重要となりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

エンジン・後処理・ パワートレイン	車体・シャシ・ 生産加工	ITS・人間工学	部品・材料	CAE/NV・計測・ 流体	HV・PHV・EV	安 全	その他
----------------------	-----------------	----------	-------	------------------	-----------	-----	-----

13

📅 10月16日(金) 2026年秋季大会タイムテーブル

会場		札幌コンベンションセンター						
		大ホール 1	大ホール 3	104+105	107+108	中ホール A	中ホール B	特別会議場
9:30		ドライバの安全行動Ⅱ 265 266 267 268 No. 148 講演件数:4件	車両制御 276 277 278 279★ No. 151 講演件数:4件	車両開発Ⅳ 285 286 287 288★ 289 No. 153 講演件数:5件	新燃料 SI エンジンⅠ 296 297 298 ----- 10分間休憩 299 300 301 No. 155 講演件数:6件	認知・感性 309 310 311★ 312 No. 157 講演件数:4件	ディーゼル燃焼Ⅰ 319 320 321 ----- 10分間休憩 322 323 324 No. 159 講演件数:6件	振動・騒音・乗り心地Ⅵ 333 334 335 ----- 10分間休憩 336 337 338
		11:10		11:35		11:10		No. 162 講演件数:6件
		12:10		12:10		12:10		
		12:10		12:10		12:10		
13:00		ドライバ特性 269 270 271 No. 149 講演件数:3件 13:25 13:55	情報通信・遠隔操作 280 281 282 283 284 No. 152 講演件数:5件 14:15	12:35 車両開発Ⅴ 290★ 291★ 292 ----- 10分間休憩 293 294 295 No. 154 講演件数:6件	12:10 13:10 新燃料 SI エンジンⅡ 302 303 304 ----- 10分間休憩 305 306 307★ 308 No. 156 講演件数:7件	HMIⅡ 313 314 315 ----- 10分間休憩 316 317 318	ディーゼル燃焼Ⅱ 325 326 327 No. 160 講演件数:3件 14:25 14:55	振動・騒音・乗り心地Ⅶ 339 340 341 342 343 No. 163 講演件数:5件 15:15 15:45
		13:25		13:10		13:10		No. 164 講演件数:5件
		13:55		13:10		13:10		
		14:15		13:10		13:10		
15:00		運転姿勢 272 273 274 275 No. 150 講演件数:4件 15:35		15:15		14:50	新燃料 CI エンジン 328 329 330 331 332★ No. 161 講演件数:5件	
		15:35		15:15		14:50		
17:00						17:00		
18:00								
19:00								

- ☑ 講演時間：原則として 25 分 / 1 講演（15 分，質疑など 10 分）
- ☑ 本タイムテーブルは 2026 年 9 月 9 日付の申込データに基づき作成されたものです。
この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性があります。
予告なく変更する場合がございますので，ご了承ください。
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は，英語講演です。
- ☑ 講演番号の隣の「★」は，後日配信がない講演です。
- ☑ 各講演会場に，講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております。優秀賞選出のため重要となりますので，ご協力のほどよろしくお願いします。

2026年9月現在

					札幌市産業振興センター 技能訓練棟3F セミナールーム1	
201+202	204	206	207	小ホール	大ホール②	エントランスホール
交通・シミュレーション 349 350 351 352 No. 165 講演件数:4件 11:10 12:10	動力伝達系の最新技術 I 363 364 365 ★ 10 分間休憩 366 ★ 367 [368] No. 168 講演件数:6件	衝突安全・人体傷害 376 377 ★ 378 10 分間休憩 379 380 381 No. 170 講演件数:6件	危険運転・ドライバ心理・ 電動キックボード 391 392 393 10 分間休憩 394 ★ 395 396 No. 173 講演件数:6件	エンジン部品・潤滑油・ トライボロジー I 403 404 405 ★ 10 分間休憩 406 ★ 407 408 No. 175 講演件数:6件	10:00 第12回学生ポスターセッション	J S A E I N N O V A T I O N F A I R 2026
ヒューマンエラー 353 354 355 10 分間休憩 356 357 358 No. 166 講演件数:6件 14:50 15:20 視覚・注意 359 360 361 362 No. 167 講演件数:4件 17:00	動力伝達系の最新技術 II 369 370 371 10 分間休憩 372 373 374 [375]★ No. 169 講演件数:7件 16:15	空力 I 382 383 384 385 No. 171 講演件数:4件 14:50 15:20 空力 II 386 387 [388] 389 390 No. 172 講演件数:5件 17:25	歩行者傷害・自転車 乗員傷害 397 398 399 10 分間休憩 400 401 402 No. 174 講演件数:6件 15:50	エンジン部品・潤滑油・ トライボロジー II 409 410 411 412 No. 176 講演件数:4件 14:50 15:20 安全一般 II 413 414 415 416 No. 177 講演件数:4件 17:00	16:00	17:00

エンジン・後処理・
パワートレイン

車体・シャシ・
生産加工

ITS・人間工学

部品・材料

CAE/NV・計測・
流体

HV-PHV-EV

安 全

その他

各セッションの講演内容は p.14～34 をご確認ください。

学術講演会プログラム (85 セッション・416 講演)

- 本プログラムは 2026 年 9 月 9 日付の申込データに基づき作成されたものです。
- この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性があります。
予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
- 講演のアブストラクトは自動車技術会webサイト「タイムテーブル」からご覧下さい。
(<https://gakkai-web.net/jsae/a/2026/program/data/jp/time-table.html>)
- 講演番号を□印で囲んだ講演は英語講演です。
- 講演番号の隣の「★」は後日録画配信がない講演です。

Technical Session Program

- This program is based on data as of September 9, 2026.
- The abstracts of the presentations are available on the timetable of the website.
(<https://www.jsae.or.jp/2026aki/english/program.php>)
- There may be withdrawn presentations.
- Boxed numbers denote English presentations.
- A “★” next to the presentation number indicates that the presentation will not be streamed after the congress.

大ホール1

【9:30～11:10】

93 xEV・熱マネジメント

xEV Thermal Management

座長：清水 修 (東京大学)

- 001 ヘリウム注入による液化水素サブクーリングに関する数値解析手法の構築
奈良 駿希・二門 永・藤浦 巖・高嶋 英巖 (AIS 北海道)
内海 政春 (室蘭工業大学)
- 002 冷凍サイクルAIサロゲートモデルと信頼性判定手法の開発
上村 匠・小林 謙太・節家 淳 (マツダ)
Bisser Raytchev (広島大学)
- 003 プローブデータの多要素解析と機械学習を用いたEV空調消費電力予測モデルの構築
長谷川 滉一・土川 晴久・松井 弘毅・福井 陽喜 (日産自動車)
- 004 日射熱と走行風を利用した車載熱発電システムの基礎検討
下池 昌弥 (SUBARU)
岩瀬 勉・香西 俊彦 (群馬大学/SUBARU)

【12:10～14:50】

94 xEV・インフラ協調

xEV Infrastructure Cooperation

座長：真島 隆司 (MJ 総合研究所)

- 005 リチウムイオンキャパシタを活用した走行中ワイヤレス給電EVのライフサイクル温室効果ガス排出量評価
仲山 朝陽・太田 涼介 (東京都立大学)
- 006 走行中ワイヤレス給電と自動運転の融合技術の開発
清水 修・花房 一義 (東京大学)
王 志宏・廣岡 芳記・岸 繁男 (ビュース)
- 007 強化学習型Stackelberg Gameに基づくEV利用と共有電池充電価格の最適化
大野 結人 (名古屋大学)
稲垣 伸吉 (南山大学)
鈴木 達也 (名古屋大学)
中野 日加里 (NUVVE JAPAN)

- 008 双方向充電器を搭載した車両における充放電時のEMC試験の検討
森 晃 (トヨタ自動車)

- 009 直流マイクログリッドinコンテナの可能性

芹澤 毅 (ダイハツ工業)
小林 信裕 (前田建設工業)
武田 正二 (ダイハツ工業)

- 010 MG中性点を活用した車載ビルトイン型V2Xの開発

芹澤 毅 (ダイハツ工業)
依田 和之・藤田 悟 (富士電機)
武田 正二 (ダイハツ工業)

【15:20～18:00】

95 xEV・エネルギーマネジメント

xEV Energy Management

座長：郡司 大輔 (東京大学)

- 011 xEVの実走行状態を台上で再現する走行抵抗決定方法の要件の検討
-(第1報) xEVにおける車両ロスの現状と台上評価における課題-
鈴木 央一 (自動車技術総合機構)
井上 勇 (小野測器)
古田 智信 (明電舎)
広瀬 翼 (堀場製作所)
中手 紀昭 (日本自動車輸送技術協会)
- 012 機械学習によるデータ解析を前提とした連続計測によるe-Axle損失評価手法
児玉 亮哉・土川 晴久・松井 弘毅・犬飼 隆哉・鷹嶋 一直 (日産自動車)
- 013 クラスタリング手法による走行パターン分類を用いたエネルギーマネジメントの検討
石橋 雄登・林 和樹・廣渡 庸介・小塚 信 (日産自動車)
- 014 Modelica言語を用いた車載太陽光発電システムモデルの開発とxEVモデルへの適用
水嶋 教文・水野 英範 (産業技術総合研究所)
- 015 電動ごみ収集車の走行実態調査ならびに電費改善のための速度変化パターン最適化
-戸別ごみ収集走行時を対象とした検討-
方 亦園・高 佳カイ・鮑 義達・楊 イ翔・紙屋 雄史 (早稲田大学)
- 016 実路走行によるハイブリッド自動車の燃費向上技術解析
加藤 彰・沼田 浩介・安生 吏玖 (帝京大学)

大ホール3

【9:30～12:10】

96 水素エンジン

Hydrogen Engines

座長：山下 晃（トヨタ自動車）

017 モーターサイクル用直噴水素エンジンにおける多点熱流束計測と異常燃焼の影響評価

益子 翔貴（東京都市大学大学院）
及川 昌訓・三原 雄司（東京都市大学）
加賀 裕貴・横森 蒼司（東京都市大学大学院）
岩田 拓実（モトラ）
加藤 洋史・和泉 恭平（カワサキモータース）
佐野 堅一（本田技研工業）
神尾 朋彦（ヤマハ発動機）
二宮 至成（スズキ）
尾鷲 道康（モトラ）

018 モーターサイクル用直噴水素エンジンにおける異常放電に起因する異常燃焼の発生機構に関する研究

加藤 洋史・和泉 恭平・中尾 祥典・松本 優作・
市 聡顕（カワサキモータース）
神尾 朋彦（ヤマハ発動機）
二宮 至成（スズキ）
佐野 堅一・丸井 勇介（本田技研工業）
近藤 卓（本田技術研究所）

019 筒内可視化による水素への炭化水素の混合が火炎伝播特性に及ぼす影響解析

中村 知裕・堀田 拓哉・須田 涼介・上野 隆盛
（日本大学大学院）
中尾 祥典（カワサキモータース）
松下 耕一郎（本田技研工業）
神尾 朋彦（ヤマハ発動機）
二宮 至成（スズキ）
飯島 晃良（日本大学）

020 Dedicated EGR方式による水素リーン+ストイキ燃焼エンジンの研究

-(第1報)数値シミュレーションによるシステム検討-

陳 登浦・森吉 泰生・石田 剛士・窪山 達也
（千葉大学）
加藤 秀輝・長田 英朗（日野自動車）

021 CFD数値解析による混合気形成の分析に基づく機械学習を活用した直噴水素エンジンの燃焼室形状の最適化

箕田 賢太郎（東京都市大学大学院）
新村 暢大（東京都市大学大学院／川崎重工業）
及川 昌訓（東京都市大学）
塚本 翔太（東京都市大学大学院）
宮本 世界（川崎重工業）
三原 雄司・高木 靖雄（東京都市大学）

022 水素エンジンの混合気均質化に関わる噴流挙動と混合気形成過程の解析

鮎川 健・山口 顕央・西村 星耶・佐々木 寛・
後藤 政典・芹澤 一史（デンソー）

【13:10～14:50】

97 排気後処理 I

Exhaust Aftertreatment I

座長：二宮 弘行（日野自動車）

023 アークプラズマ蒸着を利用した触媒スクリーニング法の検討 -(第2報) NH₃選択酸化触媒の探索-

大堀 鉄平・米山 香澄・後藤 操（いすゞ中央研究所）
町田 正人（熊本大学）
小澤 恒（いすゞ中央研究所）

024 尿素SCRシステムにおける尿素水由来の白色固体の分析

佐藤 梢・小島 隼人（早稲田大学）
酒井 順司（いすゞ自動車）
草鹿 仁（早稲田大学）

025 尿素SCR触媒における尿素パルス噴射によるNOx浄化性能変化の研究

植木 悠仁・吉田 楓香・草鹿 仁（早稲田大学）

026 水素エンジンへの適用を想定したCu-CHA型SCR触媒の水熱劣化の研究

大野 史佳・吉田 楓香・新川 真生（早稲田大学）
森 高行・山田 浩也（東京濾器）
草鹿 仁（早稲田大学）

【15:20～16:35】

98 排気後処理 II

Exhaust Aftertreatment II

座長：中山 智裕（SUBARU）

027 リアルワールドエミッション低減技術開発

-(第3報) V2X情報を活用した車両制御によるエミッション低減検討-

加藤 美江・池本 雅里・塚越 崇博・西岡 寛真・
川口 文悟（トヨタ自動車）

028 リアルワールドエミッション低減技術開発

-(第4報)ドライバの運転行動変容によるエミッション低減に関する研究-

池本 雅里・今井 幸平・守山 恵太・塚越 崇博・
西岡 寛真・川口 文悟（トヨタ自動車）
荒川 豊（九州大学）

029 100%電動駆動ハイブリッドパワートレインにおける再始動時触媒内酸素量検知によるHC、NOx浄化率向上

村上 浩一・諸星 篤史・坂田 知弘（日産自動車）

104+105

【9:30～12:10】

99 排出ガス・CO₂ 低減

Emission and CO₂ Reduction

座長：柴田 元（北海道大学）

030 脱炭素化に伴うエネルギー変革が2050年大気質に与える影響評価

-排気および非排気エミッションの影響-

安川 侑佑・山田 裕之（東京電機大学）
山田谷 佳明・森川 多津子・早崎 将光
（日本自動車研究所）
渡辺 宏江（日産自動車）
田中 光太郎（茨城大学）
岡山 紳一郎（モトリティ）
柴田 芳昭（大気環境総合センター）
木所 徹（トヨタ自動車）

- 031 自動車セクターを対象とした中長期シナリオ分析におけるCO₂排出量と費用対効果の検討

金成 修一・平井 洋・北村 高明 (日本自動車研究所)

- 032 Effect of Fabrication Parameters on CO Oxidation Characteristics of Three-Way Catalyst Microparticles Membrane on Gasoline Particulate Filter

Eugene Gatee・Tsuyoshi Nagasawa
(Institute of Science Tokyo)

- 033 周期的再生式DPFを搭載したディーゼルエンジンにおける固体粒子数の排出挙動と評価法

志村 渉 (自動車技術総合機構)

- 034 尿素SCRシステムを搭載した大型貨物車の使用過程における排出ガス性能の変化に関する研究

山本 敏朗 (自動車技術総合機構)

- 035 DAC用ハニカム構造体の自動車への搭載可能性検討

佐久間 亮輔・金山 洸大・朱 樹為・三浦 和人・
豊嶋 秀幸・豊島 哲雄 (NGK)

【13:20~14:35】

100 新型機関・評価

Advanced Engine Concepts and Evaluation

座長: 石本 淳 (東北大学)

- 036 フリーピストンを用いた可変圧縮比システム

-アトキンソンサイクルを実現する新しいメカニズム-

佐藤 智明 (神奈川工科大学)
北原 立朗 (湘南工科大学)

- 037 小型2ストロークユニフロー掃気対向ピストンエンジンの研究

大槻 涼真 (日本大学大学院)
荒岡 快・奥山 拓海 (日本大学)
大川原 育未・山崎 良明 (日本大学大学院)
飯島 晃良 (日本大学)

- 038 ハイブリッド車両のエンジン効率ベンチマーキングにおける測定手法の比較

Sukjoo Kim・Youngkuk An・Byungsoon Min (テナジ)

【15:05~17:45】

101 LCA・リユース・リサイクル

LCA, Reuse and Recycle

座長: 古山 隆 (東北公益文科大学)

- 039 リビルト部品製造工程の環境影響評価

花本 斗椰・山田 樹 (富山県立大学)
早川 明宏・根津 俊大・藤田 光伸 (NGP)
井上 全人 (明治大学)
森 孝男・山田 周歩 (富山県立大学)

- 040 自動車CVTのリマニュファクチャリングを対象とした環境影響評価

一沢 直起 (早稲田大学)
児玉 真吾・澤井 晶子 (アイシン)
成田 浩 (オーキス)
伊坪 徳宏 (早稲田大学)

- 041 メカニカルリサイクルに伴うポリプロピレン中オリゴマーおよび添加剤の構造変化

塩路 浩隆・谷口 暢子・田村 俊・山中 亨
(東レリサーチセンター)
橋本 陸・池上 亮 (アイシン)

- 042 ブラックマスの初期組成が湿式リサイクルにおける有価金属回収率に及ぼす影響

青木 靖仁・森脇 博文・伊東 知宏・八尋 惇平・
辻 洋悦・関 伸弥 (東レリサーチセンター)

- 043 リユース部品生産におけるトラック解体工程モデルの一般化と環境影響評価

納村 青葉・北 和将 (富山県立大学大学院)
早川 明宏・根津 俊大 (NGP)
竹中 優一 (トラックリファインパーツ協会)
藤田 光伸 (NGP)
井上 全人 (明治大学)
森 孝男・山田 周歩 (富山県立大学)

- 044 車載電池二次利用システムの長寿命化制御

楊 殿宇・伊沢 理加・永野 弘起 (マツダ)
石丸 淳一・小川 明宏 (中国電力)
瀬尾 宣英・村重 和宏・宇都宮 隆・藤川 叶夢・
和田 信敬 (広島大学)

107+108

【9:30~12:35】

102 車両運動 I

Vehicle Dynamics I

座長: 服部 義和 (豊田中央研究所)

- 045 ドライビングシミュレータとプレーキHILS連成による車両運動性能予測

秋山 公太・井手 亮介・前田 義紀 (トヨタ自動車)
武智 健太郎・河合 美紅
(トヨタテクニカルディベロップメント)

- 046 ボディ剛性が車両挙動に及ぼす影響に関する詳細タイヤモデルを考慮した車両運動シミュレーション

本田 晴樹・大下 晴矢・吉田 憲司 (広島工業大学)

- 047 車両運転時におけるシート動的支援性能の定量評価手法の構築

薩江 秀明・小林 裕太郎・村松 英行 (S&VL)

- 048 Development of 3-wheel EV vehicle Durability Mode Through Local Measurement in India

Seungyong Bae・Daejin Kim・Seongwoo Kim・Miyong Lee・
Seungwan Son・Donghyun Ha・Damhyun Kim・
Gyunam Park・Jaewan Kwon・Junwoo Chung
(Hyundai Motor)

- 049 車体横滑り角速度に基づく制駆動力配分制御による操縦安定性向上手法

馬場 翔真・澤瀬 薫・豊田 博充・古賀 亮佑・
河合 一憲 (三菱自動車工業)

- 050 線形域の車両運動における減衰比制御の基礎的検討

太久保 直人・小山 亮・本庄 史明 (本田技術研究所)

- 051 積載条件を考慮したBEVトラックの運転・運動特性の解析

高橋 和匡・鎌田 崇義 (東京農工大学)

【13:45~15:50】

103 車両運動 II

Vehicle Dynamics II

座長: 占部 博之 (本田技術研究所)

- 052 MR流体減衰力可変ロータリーダンパーの開発と性能評価

谷口 翔・釜田 忍・兼重 宙・花嶋 幸博・
石原 宙・Ramadhan Bayu Priyo (THK)

- 053 旋回時ジャッキング特性の理論的考察と台上実験検証

山本 真規 (神奈川工科大学)
大木 幹志 (トヨタ自動車)

- 054* Development of an Edge Device and Cloud Environment for Replica Vehicle Implementation

Seungwan Son・Daejin Kim・Seungyong Bae
(Hyundai Motor)
Minchul Lee (ACEWORKS)

055 道路曲率・カントを考慮した大型バスの車両運動モデルに基づくPath Following制御

蟻田 知希・櫻井 亮輔・杉町 敏之・櫻井 俊彰・矢作 修一 (東京都市大学)
 棚山 富士男・青木 啓二 (先進モビリティ)

056 旋回中の自動二輪車を表す簡易モデルにおけるモード解析

平澤 順治 (茨城工業高等専門学校)

【16:20~19:00】

104 車両運動 III

Vehicle Dynamics III

座長: 木谷 友哉 (静岡大学)

057 EPSシステムのピニオンギヤ支持構造に関する一考察

三好 尚 (本田技術研究所)

058 操舵系と車両運動の連成構造から見た等価操舵トルク特性が人による車両運動性能評価に及ぼす影響

石尾 隼 (本田技術研究所)
 安部 正人・久代 育生・山本 真規 (神奈川工科大学)
 鈴木 礼音 (神奈川工科大学大学院)
 山門 誠 (神奈川工科大学)

059 タイヤ回転次数振動の位相結合構造に基づくロードインフォメーション再現加振手法の提案

鈴木 拓也 (本田技術研究所)

060 階層勾配法を用いたステアバイワイヤ転舵制御の開発 (第一報)

深井 愼・古市 崇・坪内 淳志 (本田技術研究所)
 瀧江 秀明・村松 英行 (S&VL)
 岩村 誠人 (福岡大学)

061 複数の電子部品の電圧降下を考慮したアース配置検討

清野 賢子・駒田 匡史・嶋原 孝佳 (トヨタ自動車)

062 データ駆動型ADRCに基づく車両横運動制御

矢作 修一 (東京都市大学)
 梶原 逸朗 (北海道大学)

中ホールA

【9:30~11:10】

105 SLAM・生成 AI による設計支援

Design Support with SLAM & Generative AI

座長: 山下 隆義 (中部大学)

063 Parking-to-Parking自動運転に向けた市販車データに基づくクラウドソーシングの駐車場地図生成手法の検討

加藤 雄大・早川 和孝・岡部 寛 (アイシン)
 前川 敬介・長瀬 伊織 (パナソニックアドバンステクノロジー)
 福田 直季 (アイシン)

064 AVP向けクラウド型駐車場地図生成技術の開発

坂野 盛彦・酒井 貴大 (日立製作所)
 小笠原 佳伸・豊田 英弘 (Astemo)

065* 電動ウォーターポンプの形状設計を対象とした形状生成AI活用による最適化プロセスの構築と実務適用課題

茨木 優花 (アイシン)
 寺部 俊紀 (トヨタ自動車)
 北村 恭平・中井 祥平 (アイシン)

066 潜在空間を活用した性能起点型3D形状生成技術の研究

大竹 啓介・鈴木 啓晃・架場 勇介 (ヤマハモーターエンジニアリング)
 四條 清文・Muhammad Ibram Hibbanurrohim (アストライアソフトウェア)

【12:10~13:50】

106 AI・データ解析と評価技術

AI, Data Analytics & Evaluation Technologies

座長: 松下 晃洋 (日産自動車)

067 任意走行ルートでの車両動特性予測へ向けた実車走行ビッグデータ解析

岡本 真範 (トヨタシステムズ)
 梶澤 英明・吉村 知浩 (トヨタ自動車)
 Thomas Bernes Lasserre (Toyota Motor Europe)
 長谷川 茂樹 (トヨタ自動車)

068 機械学習を用いた車両旋回時における官能評価の定量化

金堀 凌也・清水 友博・杉山 諭・岡本 信・浅野 貴文・金子 隆 (SUBARU)

069 自動運転システムの安全性評価に向けた路上画像生成AIに関する検討

尾崎 信利・新国 哲也 (自動車技術総合機構)

070* 数理最適化手法による試験スケジューリングの自動化

渡辺 敏博・吉本 博・寺部 俊紀・長村 雄也・阿部 淳一 (トヨタ自動車)
 鈴木 浩介・阪本 哲郎・生田 朋子 (フィックスターズ)

【14:20~17:00】

107 SIL/HIL・仮想 ECU 検証技術

SIL/HIL & Virtual ECU Verification Technologies

座長: Juyal Chirag (スズキ)

071 ADAS ECUとメータ表示の整合性評価システム

高野 博幸 (日産自動車)
 Anhtuan Ngo・Ducphong Nguyen (日産オートモーティブテクノロジーベトナム)
 木田 知宏 (不動技研工業)
 丸田 大介 (アクセンチュア)
 常門 茂徳 (日産自動車)

072 A Method for Time Error Correction in SIL Simulation

Kyungnam Kim・Seungkyu Yoo・Hyunrak Ko・Sumin Park (Hyundai Autoever)

073 Research on Interface Methods between Virtual IP Models and Simulators in SIL Environments

Jaekyung Kim・Kyungnam Kim・Subin Jung・Haram Park (Hyundai Autoever)

074 Development of a Parallel Level 4 Virtual Electronic Controller Unit Verification Platform Based on Cloud Infrastructure

Daeki Kim・Youngmo Lee (Hyundai Autoever)
 HanSeung Myoung (Hyundai Motor)
 Sunghoon Woo (Hyundai Autoever)

075 Intelligent Fault Injection Scenario Generation Using Level 4 Virtual Electronic Controller Unit and Verification Efficiency Enhancement

-Systematic Fault Injection and Coverage Evaluation on a Level 4 AUTOSAR Virtual ECU-

Youngmo Lee・Daeki Kim・SungHoon Woo (Hyundai Autoever)

076 Development of a TC39x TriCore Instruction Set Simulator for AUTOSAR OS Conformance ELF Verification Using AI-Assisted Methodology

Sunghoon Woo・Daeki Kim・Youngmo Lee・Kyungnam Kim・Jaekyung Kim (Hyundai Autoever)

中ホールB

【9:30～11:10】

108 xEV バッテリーマネジメント

xEV Battery Management

座長：牟田 浩一郎（トヨタ自動車）

077 シリーズハイブリッド自動車における勾配予見を用いた予測型
バッテリー充電制御システムの構築阿部 雄飛・清水 隆寛・中上 飛河・新川 真生・
草鹿 仁（早稲田大学）078 Efficient Kalman Filter-Based Battery Pack SOC
Estimation Using Bar Delta Filtering

Seyedmehdi Hosseini nasab・Changwei Lin・

Lennart Bauer（FEV Europe）

Tsuyoshi Horiba・Yasutaka Ikawa（FEV Japan）

079 Comparison of IR, EKF, and NARX Estimators for
Battery SOC and Voltage Prediction Across EV Pack
Sizes

Alessandro Massimo Bertucci・Xinwei Li・

Ratnak Sok（Waseda University）

Keiki Tanabe・Goro Iijima（Mitsubishi Fuso Truck and Bus）

Jin Kusaka（Waseda University）

080 ビッグデータと生成AIを活用した市場環境における電池負荷予
測技術

波頭 佑哉（マツダ）

【12:10～14:15】

109 xEV バッテリー技術

xEV Battery Technology

座長：大塩 伸太郎（日産自動車）

081 LFPセル電気化学モデルの高精度化に向けた計測ベースのモ
デル構築

長谷川 貴俊・宮崎 亮太郎・高橋 志尚・

荒木 謙吾・江嶋 睦仁（IDAJ）

辻 洋悦・森脇 博文（東レリサーチセンター）

082* 等価衝突性能条件でのアルミニウム合金製および鋼製BEV用
電池パックの環境負荷評価

竹中 峻・仲村 宗起・鎮西 将太（神戸製鋼所）

吉野 初美（コベルコビジネスパートナーズ）

濱田 和幸・渡辺 憲一・吉田 正敏（神戸製鋼所）

083 アノードフリー全固体電池のサイクル耐久性向上に向けた取り
組み（第2報）

中川 嵩・和泉 享兵・氏家 俊太郎・楠下 颯・

長嶺 健太（本田技術研究所）

084* レーザ照射法を用いたリチウム析出セルにおける熱暴走および
熱連鎖挙動の評価

小鹿 健一郎（自動車技術総合機構）

釣賀 英樹（電気安全環境研究所）

森田 朋和（東芝）

本多 啓三（電気安全環境研究所）

085 リパーバスを模擬した組電池のサイクル劣化過程における非破
壊診断を用いたSOH・セルバランス推定

森田 朋和（東芝）

小鹿 健一郎（自動車技術総合機構）

釣賀 英樹・本多 啓三（電気安全環境研究所）

【14:45～16:00】

110 FC・水素利用

Fuel Cell and Hydrogen Utilization

座長：今村 大地（日本自動車研究所）

086* FCシステムシミュレータによるFCセル用接着シートの市場耐久
性予測

市川 亮輔・竹井 隆朗・萩原 直貴・紺野 周重

（トヨタ自動車）

小林 恭平・渡部 啓之（東洋紡）

087* ECMS-based Energy Management Strategy for a
Hydrogen Fuel Cell Hybrid Yard Tractor

Juhun Lee・Beomho Lee・Taeho Park・Dohyun Park・

Janghyeok Won・Deokjin Kim

（Korea Automotive Technology Institute）

088 ポーラスリブGDL/MPLを組み込んだ水冷FCスタックの製作と
性能評価

布川 拓未・宮田 愛子・恩田 拓実（SUBARU）

那須 三紀（エノモト）

内田 誠・渡辺 政廣（山梨大学）

吉村 尚秀（SUBARU）

特別会議場

【9:30～11:35】

111 振動・騒音・乗り心地 I

Vibration, Noise, Ride Quality I

座長：松岡 久祥（日産自動車）

089 分系のモードエネルギー寄与度解析を利用した大減衰系の
連成の解明

平岩 大知（岐阜大学大学院）

松村 雄一（岐阜大学）

橋岡 正人・駒田 匡史（トヨタ自動車）

090* Full Field Measurement of Transient Tire Vibrations
Using Digital Image Correlation and Dynamic Mode
Decomposition

Hailemichael Solomon Addisu・Yuki Kato

（Kochi University of Technology）

091 自動車用ディスクブレーキにおけるHot Judderの発生メカニ
ズムに関する実験的研究

佐田 賢也・中江 貴志・劉 孝宏・北村 純一（大分大学）

鈴木 剛・池田 英明・堀井 孝紘・野口 哲弥

（曙ブレーキ工業）

092 等速ジョイント起因による走行時車両振動の予測方法の構築

平田 淳一・鈴木 大輝・藤原 秀人（NTN）

093 リアルタイム音予測システム開発とステアリングギヤボックス異
音評価への適用

原 啓志・深澤 浩希・武藤 秀和・姫野 信幸

（エステック）

中村 光孝・石尾 隼（本田技術研究所）

【12:35～15:15】

112 振動・騒音・乗り心地 II

Vibration, Noise, Ride Quality II

座長：杉山 康二（スズキ）

094 交通環境が搭乗者にもたらす心理的負担要因の探索と評価
-自然言語処理を用いたデータ駆動型アプローチ-

浅井 二千夏（セールスフォース・ジャパン）

岩井 律子（理化学研究所）

熊田 孝恒（京都大学）

- 095 自動運転車における視覚情報の提示条件が乗員の乗り心地評価に与える影響
佐津 佑弥 (近畿大学大学院)
樹野 淳也 (近畿大学)
石松 一真 (滋慶医療科学大学大学院)
前田 節雄 (ノッティンガム・トレント大学)
- 096 電気自動車室内音質の客観評価法
-(第2報) 電気自動車室内の音質評価法-
藤井 謙弥・鳥居 建史 (本田技術研究所)
- 097 電気自動車室内音質の客観評価法
-(第3報) 振動騒音エキスパートによる電気自動車音質指標の汎化性検証-
鳥居 建史・藤井 謙弥 (本田技術研究所)
- 098 走行状態の時間履歴を考慮した運転負荷に基づくエンジン音評価の認知構造分析
菅沼 真一 (中央大学大学院)
長江 新平 (日産自動車)
戸井 武司 (中央大学)
- 099 NV官能評価の定量化システム開発による車両ドライバビリティ向上への貢献
木本 博行・力武 俊介・矢野 正雄・山北 悠太・
信原 邦啓・吉村 仁 (トヨタ自動車)

【15:45～17:50】

113 振動・騒音・乗り心地 III

Vibration, Noise, Ride Quality III

座長：森田 英憲 (トヨタ自動車)

- 100* 第3世代100%電動駆動ハイブリッドパワートレインを搭載した新型コンパクトSUVの静粛性開発
関根 立弓・松永 亮・宮川 隆行・金山 雅洋・
森 行広 (日産自動車)
- 101 100%電動駆動ハイブリッドを搭載した新型ミニバンの中内騒音低減技術
生井 裕樹・岡田 和久・小穴 祐太・桑田 敏久・
森 行広 (日産自動車)
- 102 最新世代ハイブリッドシステムおよび新型ミニバンに向けた次世代アクティブ・ノイズ・コントロール技術
倉見 春奈・生越 渉・越智 大輔・岡田 和久・
森 行広・榎本 俊夫 (日産自動車)
- 103 Test Method for Unification and Luxury of Operating Interior Electric Curtain Noise
Sangkyun Ahn (Hyundai Motor)
- 104 A Study on Vibration Devices for Vehicle Interior Applications
SeokHwan Ji (KOMOS)

201+202

【9:30～12:10】

114 車両開発 I

Vehicle Development I

座長：今長 久 (日本自動車研究所)

- 105 クロスドメインモデルを用いた大域的な設計最適化を実現するMBD手法の開発
-(第2報) モジュールを考慮した寄与度把握と妥協計画法を用いた仕様判断-
内海 碧人・高橋 成光・小嶋 麻由佳・
清野 昌之 (日産自動車)

- 106 クロスドメインモデルを用いた大域的な設計最適化を実現するMBD手法の開発
-(第3報) 統合平文と暗黙知の段階的な文面化によるLLMエージェントの構築手法-
高橋 成光・内海 碧人・清野 昌之 (日産自動車)
- 107* 性能感度に基づいて潜在空間拡張する自己成長AIの開発とブラケット設計への適用
河村 樹人・寺部 俊紀・神庭 千佳・大河 誠・
佐野 拓生 (トヨタ自動車)
- 108 製造制約を考慮した骨格断面生成による設計空間探索手法の開発
石外 哲也・新谷 浩平・谷口 真潮・山中 翔・
森田 隼太 (トヨタ自動車)
- 109 少数サンプル学習サロゲートモデルによるEVバッテリープレート材料・形状同時最適化
齋藤 博之・道下 孝之・河尻 耕太郎 (エイゾス)
- 110* Target Cascading of Tire Performances Using Machine Learning
Yeonsang Yoo (Hyundai Motor)
Benjamin Schäfer (RWTH Aachen University)
Yongdae Kim・JinSil Kyeong (Hyundai Motor)

【13:10～15:50】

115 車両開発 II

Vehicle Development II

座長：宮鹿野 智 (トヨタ自動車)

- 111 データ同化によるスポット溶接破断予測モデルの特性推定
伊藤 里沙子・石橋 慶輝・佐藤 太一・
登坂 泰浩 (日産自動車)
- 112 簡易鋳造解析による衝突解析でのアルミダイキャスト部品挙動再現性向上の検討
深川 健一郎 (本田技術研究所)
- 113 Trimmed Solidを用いたIsogeometric解析による破断解析に関する研究
西 紳之介・内藤 正志 (本田技術研究所)
清水 則雄 (JSOL)
- 114 線形座屈解析を用いた衝突部品の最適形状導出
揚場 遼・樋貝 和彦・新宮 豊久 (JFE スチール)
- 115 A study on Securing Torsional Stiffness in the Early Design Stage to Enhance Chassis Frame Durability
Namjin Kim・Gunwoo Nam・Geonhee Cheon・Eunsu Jang・
Soosang Yoo・Hyun Sung・Jungsub Kim (Seojin Industrial)
- 116* A Study of the Durability Analysis Method Considering Various Contact Conditions
JinHee Jang (Hyundai Motor)
DongJun Kim (Cadence)
MoonHo Yang (Hyundai Motor)

【16:20～18:00】

116 車両開発 III

Vehicle Development III

座長：櫻井 俊彰 (東京都市大学)

- 117* インパネ触感の摩擦計測、および指表面可視化による高触感要件の特定
山岸 和輝・西城戸 蘭・高橋 巧朋 (マツダ)
- 118 Pre-Verification of the Development of the Deco Bezel Specification Steering Wheel Through Analysis
Dongmin Kim (KOMOS)
- 119 A Study on Partition Layouts for Configuring Independent Spaces in Vehicles
Jiseob Park (Hyundai Motor)
Jaemoon Jung (SeoYon E-Hwa)

120 *The Development of Active Air Skirt for Reducing Drag Force

Jinyoung Yoon・Soobok Kim・Nakkyoung Kong・
Hongheui Lee・Dongha Kim・Haklim Kim (Hyundai Motor)
Jaesup Byun・Jangho Kim (Hyundai Mobis)

204

【9:30～10:45】

117 エレクトロニクスⅠ - センサ - Electronics I -Sensor-

座長：久保田 直行（東京都立大学）

121 塗膜のミリ波透過性能に対する予測モデルの構築と影響因子の解明

小湊 裕允・山川 啓介・落合 洸矢・奥木 友和・
松井 寛杜・桂 大詞（マツダ）
山本 崇史（工学院大学）
平野 拓一（東京都市大学）

122 ステレオカメラにおける画像拡大率を利用した基線方向の三次元測定

城戸 英彰（日立製作所）
入江 耕太（Astemo）

123 *Research on Lamp System for Vision Sensor

Byoungsuk Ahn・Hyungsun Kim (Hyundai Motor)
Jungsub Lim・Hyunchang Hwang (Hyundai Mobis)

【11:45～13:25】

118 エレクトロニクスⅡ - ECU - Electronics II -ECU-

座長：荒川 俊也（東京電機大学）

124 BGAはんだ接合の信頼性設計への検討と対策

西森 久雄・武藤 潤・柴田 靖文（トヨタ自動車）

125 プリント配線板製造品質向上に向けたAIと統計学的手法を用いた製造管理アプローチ

成田 隼翼・堀川 敦・上野 智之（日産自動車）

126 高速通信用コネクタのSnめっきから生じるウィスカの発生メカニズムと対策の提案（第2報）

武藤 潤・西森 久雄・役田 仁・折中 ミイユ・
柴田 靖文・山田 孝司・初岡 涼平（トヨタ自動車）

127 高温環境下の車載ECUにおける異常加熱現象の簡易評価方法開発

森 鴻輝・堀川 敦・岸 文人（日産自動車）

【13:55～16:35】

119 エレクトロニクスⅢ - 評価技術 - Electronics III -Evaluation Technology-

座長：戸田 雄一郎（岡山大学）

128 自動運転用センサー評価に向けた動的気象環境を再現する人工気象室の開発とその評価方法（第4報）

吉田 樹・Hemant Subhas Ningaraddi・
榎 浩之・嶋 寿泰（エスベック）
大石 威風・五十嵐 想（同志社大学大学院）
中川 正夫（同志社大学）

129 自動運転に向けたSNN判断モデルの検討

泉名 克郎・富田 克樹・有馬 悠也・黄 燦
（NTT データオートモビル ジェンス研究所）

130 物理誘導型2段階異常検知フレームワークによる産業用コネクタ総合検査

伊藤 龍翔・佐々木 栄子・市毛 弘一（横浜国立大学）
松尾 弘達・宇賀治 篤史・羽田 松太郎・阿部 浩二
（日産自動車）

131 ESA免疫試験方法間の相関性について

-(第2報)回路インピーダンス及び注入位置による影響-
伊藤 紳一郎・小林 敬史（自動車技術総合機構）
塚原 仁（日本品質保証機構）

132 シャンダイナモ走行中におけるエミッション性能への影響検討

青木 克将（トヨタ自動車）

133 車両電源システム開発における統合MBD環境の構築と適用効果

-MILS/HILSによる車両電源システム成立性評価-
木下 貴博・畑 佑樹（SUBARU）

206

【9:30～12:35】

120 ドライバ状態Ⅰ Driver State I

座長：栗谷川 幸代（日本大学）

134 * 自動運転Lv.2における不注意状態推定のための指標に関する検討

中島 希（慶應義塾大学大学院）
佐川 立昌・水野 伸洋・吉澤 顕
（デンソーアイティラボラトリ）
大門 樹（慶應義塾大学）

135 前方注視点の動的推定に基づく通常とは異なるドライバの潜在意識の検知

佐藤 学（東洋大学大学院）
鈴木 宏典（東洋大学）

136 適切なリアルタイム介入の実現に向けたドライバ・乗員状態変化検出手法の提案と実データを用いた試行

大須賀 美恵子（大阪工業大学／ウエルネスラボ）
竹内 大樹（産業医科大学）
鎌倉 快之（大阪工業大学）

137 生体指標に基づく多感覚刺激の最適化

-覚醒促進に寄与する刺激組み合わせの検討-

小川 由理恵・大平 真也・興梠 有人・福原 千絵
（トヨタ自動車）

138 安静時平均皮膚温と同程度の暑熱環境下における2列配置および1列配置ファン内蔵カーシートの冷却効果

高橋 勇人・和田 健太郎・永井 暉之
（京都工芸繊維大学大学院）
北川 哲也（フォルテック）
西崎 友規子・山下 直之（京都工芸繊維大学）

139 低放射ガラスが冬季車室内における乗員生理・心理量に与える影響に関する車室内被験者実験と分析

尾関 義一（AGC）
龍崎 輝（竹中工務店）
辻本 雄一郎・新藤 幹・田辺 新一（早稲田大学）

140 顔表情および生理量を用いた乗員温熱快適性推定に関する検討

河村 力・原 裕子・児玉 悠貴（マツダ）
辻 敏夫（広島大学）

【13:35～16:15】

121 ドライバ状態 II

Driver State II

座長：大須賀 美恵子 (大阪工業大学)

- 141 運転特性を考慮した走行データクラスタリングに基づくアクセル操作予測モデルの構築
細木 貴文・室谷 立・佐藤 進 (東京科学大学)
- 142 HRVと内分泌系指標の同期化による精神・身体ストレス分類を用いた車室内ヒト状態推定
西 雅章 (本田技術研究所)
和泉 慎太郎・谷口 信人・野田 悠斗 (神戸大学)
椎野 俊秀・野口 恭史 (本田技術研究所)
- 143 運転支援機能への信頼を構築することが乗車時の安心に及ぼす効果
古谷 庸介・岡本 宜久・神尾 大成・銀持 寛正・道田 奈々江 (マツダ)
定藤 規弘 (立命館大学)
- 144 実路走行環境パラメータを用いたブレーキ予測機構搭載型アクセル操作予測モデルの構築
室谷 立・細木 貴文・佐藤 進 (東京科学大学)
- 145 気流刺激に対する身体部位の感受特性に基づくドライバの覚醒維持方策
市川 太陽・林 瑤子 (東京科学大学)
郭 鐘聲 (拓殖大学)
平尾 章成 (芝浦工業大学)
小竹 元基 (東京科学大学)
- 146* 事業用自動車ドライバ向け居眠り予測システム (DAPS) の開発：覚醒度評価手法の基礎的検討
田中 信壽・新国 哲也 (自動車技術総合機構)

【16:45～19:25】

122 ドライバの安全行動 I

Safety Behavior I

座長：中村 弘毅 (日本自動車研究所)

- 147 一般道上での交通参加者との位置関係を考慮した交通外乱シナリオの体系化
三浦 大輔・吉田 学立・林 玲秀 (NTT データオートモビルジェンス研究所)
森 真由 (メイテック)
古在 由武 (NTT データオートモビルジェンス研究所)
長谷川 諒・小西 薫・今長 久 (日本自動車研究所)
- 148 自動運転車が遭遇する交通外乱に対する網羅的安全性評価に向けた基盤技術構築
-道路構造・標識等に対応する法令と交通外乱シナリオの結合抽出-
吉田 学立・三浦 大輔・林 玲秀 (NTT データオートモビルジェンス研究所)
森 真由 (メイテック)
古在 由武 (NTT データオートモビルジェンス研究所)
長谷川 諒・小西 薫・今長 久 (日本自動車研究所)
- 149* 2次元占有格子地図を利用した交差点リアルタイムリスク予測手法の開発
茶屋 博紀・豊田 平司郎 (トヨタ自動車)
- 150 交差点を右折する一般ドライバの注意深い運転行動に関する研究
真鍋 裕輝・児島 亨・阿部 見大・宅島 護・北田 幸一 (自動車技術総合機構)
- 151 ドライブレコーダ映像と3D-LiDARデータによる走行軌跡の高精度推定方法に関する研究
松村 英樹 (自動車技術総合機構)
田井中 一輝 (東京都立大学)
石塚 康大朗・杉山 幹 (交通事故総合分析センター)
久保田 直行 (東京都立大学)

152* ドライブレコーダ映像及びEDRデータ並びに走行軌跡の高精度推定結果を用いた事故再現とその有用性に関する検討

石塚 康大朗 (交通事故総合分析センター)
松村 英樹 (自動車技術総合機構)
田井中 一輝 (東京都立大学)
杉山 幹 (交通事故総合分析センター)
久保田 直行 (東京都立大学)

207

【9:30～10:45】

123 自動車用材料 I

Automotive Materials I

座長：三輪 紘敬 (日産自動車)

- 153 市場回収データに基づく自動車板金部品の腐食深さの経時変化のベイズ統計手法
徳永 淳志 (SUBARU)
- 154 低温封孔処理によるアルミニウム部品の耐食性評価
小野 晋太郎・村上 春彦・藤田 昌弘 (スズキ)
- 155* 電極-電解液界面を考慮した劣化現象の機構解析
櫻本 和弘・白井 敬介 (豊田自動織機)

【11:55～13:35】

124 自動車用材料 II

Automotive Materials II

座長：川下 宜郎 (日産自動車)

- 156 新JASO M 609法と防錆迅速評価法の関連検討
江崎 達哉・浅田 照朗 (マツダ)
- 157 車載内装加飾フィルムの耐薬品性における溶媒拡散挙動と分子鎖緩和の関係解析
渋谷 滝人 (本田技術研究所)
- 158 耐火性樹脂の高温・燃焼中におけるin-situ引張試験手法の開発
-バッテリーパック用樹脂複合材料の比較評価-
榎田 智志・梶谷 昂平・幸 淳史 (ダイキョーニシカワ)
山田 裕紀・安田 周平・小川 淳一 (マツダ)
大越 雅之・仲井 朝美 (岐阜大学)
- 159 リサイクルCFRPの品質評価の高度化に向けた繊維含有率の非破壊評価に関する研究
-アクティブサーモグラフィ法による熱拡散率計測-
赤井 淳嗣 (京都教育大学)
濱田 幸宏 (トヨタ自動車)
佐藤 康元 (豊田中央研究所)
三国 敦 (トヨタ自動車)

【14:05～15:45】

125 自動車用材料 III

Automotive Materials III

座長：片桐 知克 (JFE テクノリサーチ)

160* エンジン軸受用積層めっき材料における下地結晶粒径が被膜組織および軸受性能に及ぼす影響

前川 優平・金谷 竜次・羽根田 祐磨 (大同メタル工業)

161 Evaluation of Liquid Metal Embrittlement and Spot Weldability in E-Coated, Galvannealed 1.8 GPa Hot-Stamped Steel

Wook Jin Oh・Chang Wook Lee (Hyundai Motor)
Je Youl Kong (Hyundai Steel)
Dong Hyun Kim (Hyundai Motor)
Jae Wook Kang (Hyundai Steel)

162 等価指標による水素脆化評価の規格差整合

木村 亜聞・溝上 達志・深堀 貢 (マツダ)

163 動的負荷環境下における水素脆化耐性の判断指標

前田 晋 (本田技術研究所)

鈴木 純弥 (本田技研工業)

宝田 龍哉 (本田技術研究所)

田中 秀樹 (本田技研工業)

一條 秀治・仁平 瑞貴・後藤 一斗 (本田技術研究所)

小ホール

【9:30～11:10】

126 高齢ドライバー

Elderly Driver I

座長：伊藤 安海 (山梨大学)

164 日本における高齢ドライバー人口と操作間違いによる事故の推移

加藤 洋子・松井 靖浩・関根 道昭 (自動車技術総合機構)

165 高齢者向け電動モビリティのユーザー体験評価と身体・認知機能特性との関係

-移動支援実証内における探索的研究-

渡邊 寛・山崎 宏 (オートテックジャパン)

森山 修・武藤 健伸・高野 映子・近藤 和泉

(国立長寿医療研究センター)

166 高齢ドライバー個人特性からみたVRTレーニングの安全確認行動への効果

吉原 佑器・江 林京・Nihan Karatas・

原田 あすか・金森 等 (名古屋大学)

小島 基資 (トヨタ自動車)

田中 貴紘 (名古屋大学)

167 高齢ドライバーの生活・健康意識、運転経験、ADAS必要性および運転適性診断結果の関連に基づく事故リスク要因の検討

-(50)運転寿命延伸を目指したドライバー運転特性研究-

谷口 俊治・伊藤 倫・青木 宏文 (名古屋大学)

【12:10～13:25】

127 エアコンディショナ

Air Conditioner

座長：六嶋 公平 (デンソー)

168 車室内快適性向上に向けた対流空調流れの最適化検討

鈴木 順・丸本 真玄・榊井 茜・河上 晃希・

研井 暁 (マツダ)

169 車室内空調を模擬した吹き出し噴流におけるReynolds平均型乱流モデルの予測精度検証

伊藤 和樹 (広島大学)

森下 正浩・武藤 亘平 (ハイリマレリジャパン)

中島 卓司 (広島大学)

郡 逸平 (東京都市大学)

尾関 義一 (AGC)

井上 実 (マツダ)

松永 和彦 (神奈川県立産業技術短期大学校)

陸田 秀実 (広島大学)

170 低GWP冷媒向けPOE冷凍機油の基礎特性

皆川 有成・高木 智宏・澤田 健・桜庭 吏・水谷 祐也

(ENEOS)

【13:55～16:00】

128 冷媒

Refrigerants

座長：永井 大樹 (東北大学)

171* BEVにおける熱マネジメントシステムの1Dモデル開発

-(第2報)冷凍サイクル中のオイル挙動予測モデルの構築-

山下 優・安田 陽介・佐藤 裕介・須藤 知宏 (デンソー)

172 将来xEVにおける次世代冷媒を活用したサーマルシステムに関する研究

道川内 亮・杉原 寛之・太田 篤治 (トヨタ自動車)

加見 祐一 (デンソー)

173 電池用低導電率クーラントの長寿命化に向けた処方設計

-電池用低導電率クーラントにおける導電率上昇要因の解析-

児玉 康朗 (トヨタ自動車)

柄澤 涼・大坪 巧 (日本ケミカル工業)

174 低GWP冷媒を作動流体とした自励振動ヒートパイプの伝熱特性

道願 陸斗 (東北大学大学院)

根岸 泰隆・文野 明日香・三原 祐二 (ダイキン工業)

加納 歩輝・清水 歩 (東北大学大学院)

永井 大樹 (東北大学)

175* Thermal-Flow Stabilization Design of a Coolant Heater for Electric Vehicles

Daeseong Han・Jung Han Kim・Dae Nyeon Kim

(Gyeongbuk Institute of IT Convergence Industry Technology)

Il Hwan Yi (Kumoh National Institute of Technology)

Jaehwan Jeong (DHG)

大ホール1

[9:30~11:10]

129 熱・流体 I

Thermal and Fluid I

座長：坪倉 誠 (神戸大学大学院／理研)

- 176* 自動車用タイヤのトレッドパターンが自動車の空気抵抗に与える影響の検討

伊田 真悟・永瀬 将弘 (住友ゴム工業)
山田 悟・田中 郁生 (ダッソー・システムズ)

- 177 車両走行による帯電および表面でのイオン中和・電気力変動を考慮した気流変化の解析手法

高須賀 直一 (SOKEN)
前田 和宏 (トヨタ自動車)
前田 登 (SOKEN)

- 178 マルチツールをオンライン連成するCo-Simulation環境の構築
-(第7報) OBDを対象とするMBD手法の検討-

緒方 健一郎・中村 大二郎・鶴巻 尚志 (本田技術研究所)
谷 理範 (本田技研工業)
福島 斉春・岡川 洋平・谷本 悠太郎・本莊 拓也 (本田技術研究所)

- 179 3次元流体解析による車室内電子部品の雰囲気温度予測法開発 (第2報)

奥村 孝文・西森 久雄・武藤 潤・釜谷 大志・
初岡 涼平・本多 哉尋・山口 大樹 (トヨタ自動車)

[12:10~13:50]

130 熱・流体 II

Thermal and Fluid II

座長：飯田 明由 (豊橋技術科学大学)

- 180 全体構造と細部形状を分離した潜在表現に基づく車両空力予測モデルの検討

中島 卓司・岡本 泰知・苗 江東・佐々木 千里・
Bisser Raytchev・農澤 隆秀 (広島大学)
清水 圭吾・中村 優佑・瀬尾 晃平 (マツダ)
坪倉 誠 (神戸大学／理化学研究所)

- 181 Graph Neural Networksを用いた自動車表面圧力・応力の効率的予測のための転移学習

田中 凱也 (神戸大学)
大西 順也 (理化学研究所)
中島 卓司 (広島大学)
坪倉 誠 (神戸大学／理化学研究所)

- 182 FEMを用いたドアシールの隙間における漏洩音予測手法の開発

土岐 武也 (トヨタ自動車)
高阪 文彦 (ダッソー・システムズ)
伊藤 祐太・安岡 志朗 (トヨタ自動車)

- 183* 3次元形状の潜在表現を用いた大規模言語モデルによる空力特性推論に関する基礎研究

伊藤 悟 (名古屋大学大学院)
西口 浩司 (理化学研究所)
仲谷 幸一郎・尾崎 悠利 (名古屋大学大学院)
金森 敬宗・則竹 真吾・田中 博 (トヨタシステムズ)

大ホール3

[9:30~11:10]

131 振動・騒音・乗り心地 IV

Vibration, Noise, Ride Quality IV

座長：松村 雄一 (岐阜大学)

- 184 Virtual Point Transformationを導入した実稼働TPAによる高精度6自由度寄与分離手法に関する検討

藤牧 幸輝・原 健太・吉田 準史 (大阪工業大学)

- 185 自動車ラゲッジ空間を対象とした実稼働TPA-CAE連携による高寄与音響モード抽出および応答予測手法について

吉田 準史・中村 理人 (大阪工業大学)
中島 憲久・福本 一朗 (河西工業)

- 186 マイクロフォン組込みタイヤによる道路インフラ健全性モニタリング方法の検討

谷 弘詞・呂 仁国・小金沢 新治 (関西大学)

- 187 MLSに基づく曲面構造物の瞬時振動インテンシティの計測手法

山田 宏典 (SUBARU)
阿部 啓介 (University of Michigan/North American SUBARU)
山崎 徹 (神奈川大学)

[12:10~13:50]

132 振動・騒音・乗り心地 V

Vibration, Noise, Ride Quality V

座長：戸井 武司 (中央大学)

- 188 実車振動を用いた人体・シート系の動特性と乗り心地評価

吉村 卓也 (東京都立大学)
小笠原 浩史 (東京都立大学大学院)
洪 佳駿・玉置 元 (東京都立大学)
野島 崇矢・塩崎 弘隆 (三菱自動車工業)

- 189 心地良いパワーシート作動音の開発
-(第1報) パワーシート作動音低減につながるモーターギヤ噛合い力最適化モデルの検討-

新堀 圭一郎・佐藤 篤司・時田 皇 (トヨタ紡織)

- 190 空冷式電池ユニットの送風音抑制に向けた予測技術の構築 (ダクト減衰量の予測)

茶谷 文博・渡邊 卓夫・西脇 雅宣・大田垣 晃 (トヨタ自動車)

- 191 表面微細構造によるダクト曲がり部における境界層制御と空力騒音低減

野村 俊平・祖父江 祐太 (岐阜大学)
小坂 翔・吉田 憲司・関 加夫里 (デンソー)
酒井 康彦 (名古屋産業科学研究所)
山田 周歩 (富山県立大学)
寺島 修 (岐阜大学)

104+105

[9:30~12:10]

133 安全一般 I

Safety (General) I

座長：関根 康史 (福山大学)

- 192 項目反応理論を用いた運転リスク評価テストで出現するハザードの分類

篠原 一光・増田 奈央子 (大阪大学大学院)
島崎 敢 (近畿大学)
伊藤 倫・青木 宏文 (名古屋大学)

193 Characteristic Analysis of Vehicle-VRUs Crashes Based on Real Accident Data in China

Zeyao Li (Huaqiao University)
 Zhuo Li · Di Pan (Xiamen University of Technology)
 Koji Mizuno (Nagoya University)
 Yong Han (Xiamen University of Technology)

194 機械学習を用いた6000系アルミ合金のBH後の耐力予測に関する研究(第2報)

永井 潤哉・青野 健太郎・根川 亮佑・高見 大輝
 (SUBARU)

195 後方散乱光による凍結路面μ計測の妥当性検証

川原 友希(東北学院大学大学院)
 城戸 章宏(東北学院大学)

196 砂利への進入による車両横転挙動のモデル化と再現性の検証

伊原 裕貴(SUBARU)
 香西 俊彦・岩瀬 勉(群馬大学/SUBARU)
 諸富 直樹(SUBARU テクノ)
 木下 博文・極楽寺 誠一(SUBARU)

197 遠隔接続されたドライビング・サイクリングシミュレータにおける通信遅延の影響評価

山口 拓真・張本 雅康・伴 和徳
 (トヨタテクニカルディベロップメント)

【13:20~15:00】

134 自動運転に係わる安全

Safety of Autonomous Driving

座長: 堤 成可(香川大学)

198 車対自転車出会い頭シナリオにおける自動運転車の安全運転行動とその限界の定量的評価

-(第1報)ヒヤリハット事例をもとにした衝突リスクの評価-

阿賀 正己(東京農工大学)
 齊藤 裕一(筑波大学)
 Pongsathorn Raksinchareonsak · 永井 正夫(東京農工大学)

199 自転車の存在を通知する運転支援システムの受容性評価

原田 あすか・金森 等(名古屋大学)
 山田 健一・水間 隼人・齊藤 雅治(トヨタ自動車)
 吉原 佑器・Nihan Karatas · 江 林京・田中 貴紘
 (名古屋大学)

200 自動運転バスの遠隔操縦における視点位置が操舵特性に与える影響

松村 勇作・古郡 直樹・杉町 敏之・櫻井 俊彰・
 矢作 修一(東京都市大学)
 大貫 正明・中野 公彦(東京大学)
 郭 鐘聲(拓殖大学)

201 ステレオカメラベースのオンライン地図生成に関する事例研究

柳瀬 龍・譚 朗星・小甲 啓隆(SUBARU)

107+108

【9:30~12:10】

135 xEV モータ技術

xEV Motor Technology

座長: 安島 俊幸(Astemo)

202 高出力密度モータの開発

-(第4報)高回転化の成立限界を考慮した電磁・機械強度統合設計による10kW/kg級高出力密度化の実証-

板坂 直樹・河野 通治・梶嶋 寿行・野村 健太郎・
 平林 千典(MCF Electric Drive)

203 高出力密度モータの開発

-(第5報)直接油冷却におけるコイルエンド温度上昇の不均一性の発生要因と低減-

梶嶋 寿行・板坂 直樹・河野 通治・野村 健太郎・
 平林 千典(MCF Electric Drive)

204 e-Axleにおける小型化・高効率化および高トルク密度化技術の開発

高橋 洋平・植杉 桂・大石 貴彦・塩満 栄一(明電舎)

205 発電モータの位置センサレス制御における異常検知および復帰手法の構築

森 憲二・小島 哲朗・澤田 彰・中島 孝(日産自動車)

206 二重三相巻線の中性点間に界磁巻線を接続したハイブリッド界磁メモリモータの基礎検証

-(第4報)負荷運転時の効率向上効果-

牧野 宏明・齋藤 亮介・松下 真琴・遠井 敬大・
 竹内 活徳(東芝)

207 モータ冷却CAEの高速化技術開発

中野 慎太郎(トヨタ自動車)

【13:20~16:00】

136 xEV システム技術

xEV System Technology

座長: 平野 覚(日野自動車)

208 Development of a Model-Based 2-Stage Motor System Inverter Durability Test Mode Reflecting Customer Usage

Minsu Hyun · Miyong Lee · Je Hwan Lee · Yeong Ju Koh
 (Hyundai Motor)

209 充給電機能を統合したパワーユニットの巻線切り替えとAC充電の実機検証

梶沢 慶介・久保田 芳永・中富 奏明・浅見 記吉・
 二村 圭哉・轟 拓海・内藤 直也(本田技術研究所)

210 新型中型ピックアップトラック向けBEVパワートレインシステムの開発

鈴木 隼人・前田 健吾・橋本 剛・中村 康一・
 河森 央光・西川 耕史(トヨタ自動車)

211 コンパクトSUV向け第3世代100%電動駆動ハイブリッドパワートレインの開発

桐迫 啓誠・小林 敦・矢部 拓也(日産自動車)

212 プレミアムミニバンの力強い走りを実現するバッテリー技術の開発

村上 聡・本田 崇・坂本 涼・坂保 賢司・
 石本 昇三・枚田 典彦(日産自動車)
 川崎 龍彦・細谷 陽明・關 栄二
 (ピークルエナジージャパン)

213 新型 大型ミニバン向け第3世代100%電動駆動ハイブリッドパワートレインの開発

鈴木 伸一・吉田 直弘・石崎 晋・小野川 遼
 (日産自動車)

中ホールA

【9:30~12:10】

137 MBSE・要求分析・セーフティ

MBSE Requirement Analysis & Safety

座長: 後藤 史英(デンソー)

214 MBSEを用いたTHSエンジン起動時振動の制御適合プロセス改善

清水 聡・佐川 正記・原 詳太・神長 隆史・
 末益 賢治・金子 広孝(トヨタ自動車)

215 MBSEと生成AI(LLM)活用によるe-Axleシステム開発の効率化(第2報)

平野 拓朗・勝城 勝・川島 一訓・河住 拓郎(ジャトコ)
 片桐 大輝・森長 誠・西村 元一(ストックマーク)

216 車両盗難等の物理攻撃に適したリスク評価手法の検討

下川 真季・三好 孝典・垣東 和弘・堀端 啓史
(住友電気工業)

Bitu Mpidi Isaac・Basabe Hugo (Fraunhofer IEM)
Sokoros Ioannis・Möhrle Felix・Schwarz Reinhard
(Fraunhofer IESE)
Wagner Eric (Fraunhofer FKIE)

217 高レベル自動運転における未知リスクの定量化のためのベイズ的アプローチ

横田 剛典 (NTT データオートモビリティジェンス研究所)

218 SDVのOTAソフトウェア更新における再認証クレジット配分手法

橋本 直樹 (モンスターラボ)

219 UN-R.156-01改正におけるRXSWIN要件の解説

榎本 恵・新国 哲也 (自動車技術総合機構)

中ホールB

[9:30~10:45]

138 高齢ドライバ II

Elderly Driver II

座長: 竹本 雅憲 (成蹊大学)

220 高齢ドライバにおけるオンライン運転適性診断と実車運転評価の関連

-(49)運転寿命延伸を目指したドライバ運転特性研究-

伊藤 倫・谷口 俊治・青木 宏文 (名古屋大学)

221 ハンドル・ペダルの操作連携の不適合に起因する操作ミスの発生メカニズムの検討

加藤 由衣・平松 真知子・中山 友香・海老名 亮彦
(日産自動車)

上出 直人・安藤 雅峻 (北里大学)

高松 敦 (日産自動車)

222 白内障傾向が薄暮・夜間走行時の運転行動に及ぼす影響

平松 真知子・川野 勉・伊藤 勇希・早川 雄己・高松 敦
(日産自動車)

川守田 拓志 (北里大学)

特別会議場

[9:30~12:10]

139 ガソリン燃焼

Gasoline Combustion

座長: 葛西 理晴 (日産自動車)

223 燃費・排ガス向上に向けた燃焼室壁温推定に基づく噴射制御合理化

森岡 竜太郎・安達 龍・津田 雄史・志村 進・
篤 幸太郎 (SUBARU)

224 自動車内燃機関における低計算コストかつ高忠実なLarge Eddy Simulationのための数値手法の検討

八百 寛樹 (菱友システムズ)

伊藤 貴之 (日本自動車研究所)

高林 徹 (本田技術研究所)

225 単一スロットル方式多気筒エンジン用吸気コレクタ形状に関する基礎検討

-(非定常流体解析による吸入空気量分配特性の評価)-

高山 拓武・小清水 健真・笠松 忍・呉 文宝
(東海大学大学院)

小川 和輝 (愛知工科大学)

成田 正敬・加藤 英晃 (東海大学)

226 希薄燃焼火花点火機関における未燃炭化水素生成・排出挙動の実験解析

川口 翔矢・窪山 達也・森吉 泰生 (千葉大学)

227* 高効率PFIリーンバーンエンジンの開発 (第1報)

渡邊 和成・永野 幸秀・正月 宏明・奥井 和仁・
佐田 景一・草場 耕佑・櫻木 章樹・島 祐太・
内藤 一哉・江原 達哉 (ダイハツ工業)

228 リーンバーンSIエンジンを搭載したハイブリッド車両におけるORC-TEG複合廃熱回収システムの検討

成毛 政貴・北村 高明 (日本自動車研究所)

204

[9:30~11:35]

140 自動運転と制御 I

Autonomous Driving and Control I

座長: 加藤 晋 (産業技術総合研究所)

229 1次元位置フィードバック下における車両ナビゲーション

-特殊螺旋曲線法-

王 威・中野 公彦 (東京大学)

230 E2E自動運転MBDに向けたフォトリアルシミュレーション基盤の開発

仲村 佳悟・横山 美優 (アイシン)

231 自動運転における対向車遮蔽歩行者の検出検証と仮想長焦点カメラを用いた遠方認識の改善

王 奕童・繆 繼樹・服部 倖也・平川 翼・

山下 隆義・藤吉 弘亘 (中部大学)

232* インフラ協調自動運転システムの車両検査ライン導入におけるLiDAR認識の活用と自動検査

穂積 伸哉・狩野 岳史・岡元 裕生・永瀧 雄平・

岩堀 健人・岩崎 典継・澤野 拓朗・岸岡 悠太
(トヨタ自動車)

高田 誠也・東 謙太 (デンソー)

233 Tightly Coupled LiDAR-IMU-Odometry Fusion with Continuous-Time Trajectory Representation for Robust Ego-Vehicle Localization

Naoki Akai・Yasuhiro Akagi・Takayuki Morikawa
(Nagoya University)

[12:45~14:50]

141 自動運転と制御 II

Autonomous Driving and Control II

座長: 大前 学 (慶應義塾大学)

234 Bird's Eye View認識システムと地図を連携した自動運転の開発

久保田 健斗・小山 哉・石井 一貴・迫川 海翔・
高尾 英行 (SUBARU)

235 GameFormerによる車両間相互作用予測と走行計画の統合フレームワーク

三輪 真也・伊藤 章 (愛知工業大学)

金城 健 (デンソー)

236 組合せ最適化を用いた高速道路合流計算における監視機能導入による計算コスト削減効果の検証

高橋 隆志 (ミライズテクノロジーズ)

大矢 晃示 (デンソー)

松浦 甲汰・山本 賢伸 (ミライズテクノロジーズ)

237 合流判断閾値の動的調整を伴う渋滞時の自律合流システムの開発

岩佐 拓未・禹 ハンウル (工学院大学)

238 運転シミュレータを用いたインタラクティブな低速直角合流行動の解析とモデル化

畔柳 蓮・石黒 達也・奥田 裕之 (名古屋大学)

富永 健太 (三菱電機)

鈴木 達也 (名古屋大学)

206

[9:30~11:35]

142 HMI I
HMI I

座長：平岡 敏洋（日本自動車研究所）

- 239 運転経験を考慮したHUDを用いた注意喚起提示法の効果評価

福田 悠人（群馬大学）
香西 俊彦・岩瀬 勉（群馬大学／SUBARU）
後藤 育郎・鳥居 武史・三国 司（SUBARU）

- 240 自動運転マーカーランプの昼夜の見え方に関する屋外評価実験

-（第3報）ランプを車両後面信号灯火の近傍に取付けた場合-
阿部 晃大・加藤 洋子・飯塚 達也・関根 道昭・
青木 義郎（自動車技術総合機構）

- 241 認知しやすいアイコンシンボルの要件

宣下 由佳（日産自動車）

- 242 二輪車前方衝突警告HMIにおける視覚・聴覚刺激への反応特性の定量評価手法の提案

山本 貴登・鈴木 桂輔（香川大学）
竹村 直敏・李 杜衡・南 智貴（本田技術研究所）

- 243 高齢運転者とのco-designによるポータブル型ドライビングシミュレータのデザイン検討

江 林京・吉原 佑器・Nihan Karatas・原田 あすか・
金森 等・田中 貴紘（名古屋大学）

[12:35~14:40]

143 車両運動 IV
Vehicle Dynamics IV

座長：山門 誠（神奈川工科大学）

- 244 前後輪駆動力配分制御に基づく車両全体の接線力最大化の検討

秋山 峰・横倉 勇希・大石 潔（長岡技術科学大学）
福井 順一・龍田 建太・今村 泰理・望月 浩孝（マツダ）

- 245 次世代道路交通安全に向けた路面摩擦情報に関する研究

-測定手順と精度を向上させるための新システム構築-
景山 一郎（先進路面摩擦データベース研究組合）
渡辺 淳士・栗谷川 幸代・原口 哲之理（日本大学）
金子 哲也（大阪産業大学）
西尾 実（アブソリュート）

- 246 モーター駆動系振動に基づくグリップ余裕度および路面
- μ
- 推定

小野 英一・米澤 紀男（豊田中央研究所）
小薮 忠勝（デンソー）

- 247* トレッドブロック単位走査による据え切り時におけるタイヤ接地面内三分力分布の計測

酒井 智紀（本田技術研究所）
松原 真己・清水 柊斗（早稲田大学）

- 248 軸力0Nにおけるホイールナットの緩み進展挙動

河野 隆修・岡本 絢子・木村 優介（SOKEN）
辻 隆弘・木村 陽介（トヨタ自動車）
鈴木 萌（SOKEN）

207

[9:30~10:45]

144 自動車用材料 IV
Automotive Materials IV

座長：長谷川 誠（横浜国立大学）

- 249* 鋼／アルミ異材スポット溶接接手の強度特性

-（第2報）疲労強度に関する調査-

各務 綾加・相本 光宏・梅野 栄介（トヨタ自動車）
松岡 秀明・尼子 龍幸（豊田中央研究所）

- 250 応力集中部を有するステンレス鋼薄板の疲労におけるコーキング効果

王 曉光（東京濾器）

- 251 A Study on Optimization of Two Stage Rolling Process to Improve formability and Reduce Springback of Pure Titanium Thin Sheet for Fuel Cell Separator

Jaebong Park・Sunghwan Kim（Hyundai Motor）

[11:45~13:25]

145 生産・製造
Production System

座長：小澤 信司（日野自動車）

- 252 塗布型補剛材による外板パネル歪の予測技術の検討

岩間 隆史・大西 洋一郎・新宮 豊久（JFE スチール）
本田 彩夏・三井 雄二郎（SUBARU）

- 253* アルミニウム合金溶接継手における単一ブローホールのサイズおよび断面内位置が応力状態に及ぼす影響の調査

宅野 聡悟・新里 映太・大竹 和実・菅井 友駿・
西川 幸治（トヨタ自動車）

- 254* 塗装乾燥工程におけるドア変形予測技術構築の取組み

庄山 和輝（トヨタ車体）
竹添 慎一（トヨタ車体研究所）

- 255 e-Axle用大径インターナルギヤの低ひずみ工法の開発

大川 雄大・加藤 豪・前田 誠（ジャトコ）
梅原 崇秀・出口 拓海（日本製鉄）

小ホール

[9:30~11:10]

146 排気後処理 III
Exhaust Aftertreatment III

座長：松岡 幹泰（デンソー）

- 256 排気脈動制御による触媒浄化性能の向上

江崎 孝志・本田 千恵・杉原 申也（三五）

- 257 データ駆動型モデルによるモーダルEMの高精度予測

酒井 康平・荒木 崇至・長野 高皓・河野 通治（マツダ）

- 258 詳細な表面反応を考慮したPd系三元触媒の数値熱流体解析-触媒層物質輸送の影響-

井上 敬太・小田 颯一郎・青山 颯汰・
草鹿 仁（早稲田大学）

- 259 連通孔付与TWC凝集体の構造・分子拡散特性に基づく粒子設計

千本 隆汰・渡邊 摩理子（上智大学）
花村 克悟（科学技術振興機構）

【12:10～14:15】

147 自転車・歩行者

Cyclists and Pedestrians

座長：平澤 順治（茨城工業高等専門学校）

- 260 VRシミュレータ実験を用いた緊急時における自転車乗員の回避行動の分析
佐野 広弥・趙 雨晴（名古屋大学）
- 261 無信号交差点におけるサイクリストの加減速判断に基づく速度決定モデルの構築
脇坂 龍・山口 拓真・伴 和徳（トヨタテクニカルディベロップメント）
奥田 裕之・鈴木 達也（名古屋大学）
- 262 後方接近車両との相互作用を考慮したサイクリストの追い越し判断モデルの提案
小栗 湊也（名古屋大学）
脇坂 龍（トヨタテクニカルディベロップメント）
奥田 裕之・鈴木 達也（名古屋大学）
山口 拓真・伴 和徳（トヨタテクニカルディベロップメント）
- 263 車両減速挙動に対する歩行者の譲り認識およびそのモデリング
-初速度，減速度，減速開始位置に基づく分析-
府川 寿紗・吉川 大貴（慶應義塾大学大学院）
中島 航・藁谷 剛司（スタンレー電気）
大門 樹（慶應義塾大学）
- 264 夜間歩行者事故の削減に向けたパターンニング前照灯の効果
飯塚 達也・加藤 洋子・青木 義郎・関根 道昭（自動車技術総合機構）
河村 和幸・忍田 圭（本田技術研究所）

大ホール1

【9:30～11:10】

148 ドライバの安全行動 II

Safety Behavior II

座長：木戸 晶洋（科学警察研究所）

- 265 ドライバの脳活動差が及ぼす左右カーブの認知と運転操作への影響
小川 令恩・橋本 幸二郎・篠原 菊紀（公立諏訪東京理科大学）
牧田 匡史（帝京大学）
國行 浩史（公立諏訪東京理科大学）
- 266 信号無視事故を引き起こす要因の分析
國行 浩史・大島 俊哉・鈴木 銀平（公立諏訪東京理科大学）
- 267 ドライビングシミュレータを用いた属性別ドライバモデルの開発
-（第1報）コーナー走行時のドライバモデルの作成とその応用-
杉浦 真吾（トヨタシステムズ）
- 268 機械学習によるペダル操作予測結果の解釈のためのドライバ操作の変動の評価
松本 昂洋・大貫 正明・廣瀬 敏也（芝浦工業大学）

【12:10～13:25】

149 ドライバ特性

Driver Characteristics

座長：安藤 貴史（産業技術総合研究所）

- 269 運転者の行動圏と年齢・移動手段・居住地域の関係
-新潟県 の物損事故データを運転者の移動行動の標本として活用した分析-
西木 教智・小菅 英恵・田久保 宣晃（交通事故総合分析センター）
- 270 交差点通過時の運転挙動に基づく熟練度評価指標の探索
村上 拓也（三菱電機）
松本 裕二（福岡工業大学）
明神 貴羅（三菱電機モビリティ）
小島 太一・表 朝子・中村 雄大（三菱電機）
- 271 運転初心者における振り返り映像視聴と肯定的な自己評価が不安感情に与える影響
吉田 創・中江 陸人（京都工芸繊維大学大学院）
西崎 友規子（京都工芸繊維大学）

【13:55～15:35】

150 運転姿勢

Driving Posture

座長：平尾 章成（芝浦工業大学）

- 272 動的および静的ドライビングシミュレータを用いた長時間運転時におけるドライバの着座疲労評価
栗田 皓太・増田 大和・早川 聡一郎・池浦 良淳・吉田 俊一（三重大学）
北川 哲也（フォルテック）
- 273 座面・背面反力を考慮した腰部負担推定モデルの提案
真鍋 凜太郎（香川大学大学院）
土谷 圭央（香川大学）
- 274 着座姿勢の多様化が乗員挙動に及ぼす影響解析
-6方向周波数スイープ加振下の全身周波数応答-
加藤 大地・河口 篤志（豊田中央研究所）
奥田 哲大（トヨタ紡織）

275 駐車操作移行時におけるペダル踏み替え動作の特徴分析

馬場 湧大・井上 潤哉 (日本大学大学院)
 風間 恵介・丸茂 喜高 (日本大学)
 平松 真知子 (日産自動車)
 毛利 宏 (東京農工大学)

大ホール3

[9:30~11:10]

151 車両制御

Vehicle Control

座長: 杉町 敏之 (東京都市大学)

276 ドライバー個人の操作入力制約を考慮したステアリングアシストシステムの提案

-(第3報) 身体制約を模擬したドライバーによる実車評価-

長坂 大輔 (J-QuAD DYNAMICS)
 伊藤 章 (愛知工業大学)
 奥田 裕之・青木 宏文 (名古屋大学)
 市瀬 茂徳 (J-QuAD DYNAMICS)

277 前後輪への最適トルク配分による自動車の姿勢および外乱抑圧制御

渡邊 僚・和田 信敬 (広島大学)
 宮腰 穂・矢野 康英・足立 智彦・福井 誠志 (マツダ)

278 パラメータ変動を考慮した深層強化学習によるパワートレイン制御系のロバスト性能向上

柴田 洗希 (北海道大学大学院)
 米沢 平成 (北海道大学)
 佐藤 晶太・菊池 浩矢・波多野 崇・
 近藤 秀一・平松 繁喜 (マツダ)
 梶原 逸朗 (北海道大学)

279* 機能安全分析における一般道での網羅的なシチュエーション導出手法の開発

宮田 義大・樫原 修平・中野 貴之 (日産自動車)

[12:10~14:15]

152 情報通信・遠隔操作

Information Communication, Remote Control

座長: 秋田 時彦 (電動モビリティシステム専門職大学)

280 モビリティシステムにおけるネットワークボンディングのための無線特性取得と効果予測

山本 紗也・熱田 隆 (IFinity モバイルテクノ)

281 モビリティシステムにおけるネットワークボンディング走行試験

熱田 隆・山本 紗也 (IFinity モバイルテクノ)

282 遠隔型自動運転サービスにおける1:N体制に関するシミュレーション検討

母 岩城・佐藤 稔久・橋本 尚久 (産業技術総合研究所)

283 遠隔運転における操舵反力の提示タイミングが運転操作に与える影響

細井 峻太郎・自見 圭司 (群馬大学)
 上林 俊樹 (SUBARU / 群馬大学)
 大熊 蓮・福田 悠人 (群馬大学)
 香西 俊彦・岩瀬 勉 (群馬大学 / SUBARU)

284 映像品質が遠隔操縦に与える影響と白線強調による運転支援効果のシミュレータによる検討

大熊 蓮・自見 圭司 (群馬大学)
 上林 俊樹 (SUBARU / 群馬大学)
 細井 峻太郎・福田 悠人 (群馬大学)
 香西 俊彦・岩瀬 勉 (群馬大学 / SUBARU)

104+105

[9:30~11:35]

153 車両開発 IV

Vehicle Development IV

座長: 櫻井 俊明 (元いわき明星大学)

285 ドライビングシミュレータを活用した雪路車両運動性能評価と開発プロセスへの展開

中島 辰彦 (トヨタ自動車)

286 製造起因の物理特性値を共通言語とする車体開発/生産統合アーキテクチャの提案

田中 一郎・堀部 浩由・藤井 隆之・樋口 英生
 (本田技術研究所)
 高山 光弘
 (サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術研究組合)

287 CAEと生産ロボットの情報循環によるデジタルツイン構築技術

藤井 隆之 (本田技術研究所)
 陣内 貴洋 (本田技研工業)
 伊藤 和人 (デジタルプロセス)
 塚田 誠司 (プログレス・テクノロジーズ)
 田中 一郎 (本田技術研究所)

288* 車室内圧力変化予測に向けた離散薄膜モデルによるエアバッグ膨張挙動の数値解析

野原 聖之 (神戸大学)
 柴田 慎輔・疋田 和樹・菅谷 尚貴・長谷川 厚
 (本田技術研究所)
 坪倉 誠 (神戸大学)

289 FMIを活用した車両全体系モデルによる電動車用熱部品の最適化手法の検討

沢田 龍作 (サワダ技研)
 交易場 真 (中央図研)

[12:35~15:15]

154 車両開発 V

Vehicle Development V

座長: 榎 徹雄 (東京都市大学)

290* 鍛造アルミニウム合金の部分鍛造適用が疲労強度に与える影響調査

志水 健人・野崎 美紀也・石田 宗一郎・前川 佳大・
 平川 政昭・吉末 監介 (トヨタ自動車)
 鈴木 智博 (豊田自動織機)
 磯野 志之 (トヨタ自動車)

291* 980MPa鋼板を適用した自動車用足回り部品の軽量化

太谷 隆広・田中 正顕・木村 大樹 (マツダ)

292 はく離負荷条件下における接着-リベット併用継手の疲労特性に関する調査

和田 千洋・河村 拓昌・新里 映太・宅野 聡悟・
 森重 雄司 (トヨタ自動車)

293 軟質ウレタンフォームの気泡分布関数と機械特性 (圧縮荷重-変位特性)の関係性研究

-(第3報) 気泡分布関数を用いた圧縮F-S特性の検討と機械学習による予測-

井上 実 (マツダ / 香川大学 / 広島大学)
 鈴木 桂輔 (香川大学)
 伊東 博之 (東洋シート)
 吉田 敏宏 (マツダ)

294 流体トポロジー最適化を用いたダクト部品検討効率化手法の研究

伊藤 芳雄・伊藤 聡 (トヨタ自動車)
 白津 史也・河野 昌彦・渡邊 俊樹 (トヨタシステムズ)

295 3D筒内CFDの縮退モデル化による多段噴射条件の筒内状態量予測

長島 広貴・安達 龍・江黒 陽介・中川 光葉・
桂川 卓磨 (SUBARU)
石澤 夏希 (IDAJ)

107+108

【9:30~12:10】

155 新燃料 SI エンジン I

Alternative-Fuel SI Engines I

座長: 森吉 泰生 (千葉大学大学院)

296 カーボンニュートラル燃料 (MtG: Methanol to Gasoline, EtG: Ethanol to Gasoline)を用いた火花点火エンジンの燃焼・排出ガス特性

岸本 千宙・森本 晴斗・Ratnak Sok (早稲田大学)
長田 剛・山田 涼太 (トヨタ自動車)
草鹿 仁 (早稲田大学)

297 エタノール混合カーボンニュートラル燃料 (MtG: Methanol to Gasoline)を用いた火花点火エンジンの燃焼・排出ガス特性

森本 晴斗・岸本 千宙・Ratnak Sok (早稲田大学)
長田 剛・山田 涼太 (トヨタ自動車)
草鹿 仁 (早稲田大学)

298 火花点火エンジン用カーボンニュートラル燃料 (MtG: Methanol to Gasoline, EtG: Ethanol to Gasoline)のサロゲート燃焼反応機構の構築

岸本 千宙・森本 晴斗・Ratnak Sok (早稲田大学)
長田 剛 (トヨタ自動車)
草鹿 仁 (早稲田大学)

299 MTG (Methanol to Gasoline)プロセスによる合成ガソリンの製造と品質制御

-FT合成との比較によるガソリン製造に関する考察-

岡本 憲一・網谷 直樹・新谷 紀行・大山 信雄・
今井 章雄・鈴木 星哉・大森 敬朗・木済 寛史
(カーボンニュートラル燃料技術センター)

300 合成燃料 (e-fuel)と従来燃料における層流燃焼速度の比較検証

松田 大・菊地 慧 (九州大学)
岡本 憲一・大山 信雄
(カーボンニュートラル燃料技術センター)
Ekenechukwu Chijioke Okafor (九州大学)

301 FT合成由来オレフィン含有ガソリンのエンジン燃焼特性評価

葛岡 浩平・小熊 光晴 (産業技術総合研究所)
岡本 憲一 (カーボンニュートラル燃料技術センター)

【13:10~16:15】

156 新燃料 SI エンジン II

Alternative-Fuel SI Engines II

座長: 近藤 卓 (本田技術研究所)

302 エタノール混合ガソリンの共沸現象が冷間始動時の液膜蒸発特性に及ぼす影響

佐藤 志龍・田村 賢治 (早稲田大学大学院)
長田 知己 (早稲田大学)
内田 健児・堀 隼基・飯田 晋也 (マツダ)
草鹿 仁 (早稲田大学)

303 ガソリン中の軽質成分 (エタノール)および重質成分と加熱・冷却サイクル条件がデポジットに及ぼす影響の基礎評価

片岡 朋治 (トヨタ自動車)
中山 慶則 (SOKEN)

304 高効率ガソリン火花点火機関における燃焼室内デポジットのモデル化研究

-(第3報)可視化定容容器を用いたカーボンニュートラル燃料構成成分のデポジット生成に対する感度評価-

本橋 一馬・田中 光太郎・境田 悟志 (茨城大学)
木下 幸一・阿部 容子 (産業技術総合研究所)
森 伸介・小玉 聡 (東京科学大学)

305 高効率ガソリン火花点火機関における燃焼室内デポジットのモデル化研究

-(第4報)カーボンニュートラル燃料を想定したオートクレーブによるデポジット評価-

木下 幸一・阿部 容子 (産業技術総合研究所)
田中 光太郎・境田 悟志 (茨城大学)
森 伸介・小玉 聡 (東京科学大学)

306 高効率ガソリン火花点火機関における燃焼室内デポジットのモデル化研究

-(第5報)実機データと模擬実験を活用したカーボンニュートラル燃料対応デポジット堆積速度予測モデルの構築-

森 伸介・小玉 聡 (東京科学大学)
木下 幸一・阿部 容子 (産業技術総合研究所)
田中 光太郎・境田 悟志 (茨城大学)

307* アンモニア/水素SIエンジンの開発

-実機によるアンモニア/水素PFIでの初期性能と点火の影響検証-

村上 亮・西橋 知博・牟田 直輝・黒木 志典・
澤下 真人 (ダイハツ工業)
山本 浩史・木村 裕幸・鷺海 博・泉 光宏
(ダイヤゼブラ電機)

308 水素混合が火花点火天然ガスエンジンのノッキングに及ぼす影響の研究

西尾 渉・清水 剛世 (早稲田大学)
吉村 佳・徳原 聡 (スズキ)
草鹿 仁 (早稲田大学)

中ホールA

【9:30~11:10】

157 認知・感性

Cognition and Kansei Engineering

座長: 松下 詩穂 (日産自動車)

309 無信号横断歩道における自動運転車の減速挙動を介した譲り意図伝達に関する研究

吉川 大貴・府川 寿紗 (慶應義塾大学大学院)
中島 航・藁谷 剛司 (スタンレー電気)
大門 樹 (慶應義塾大学)

310 夜間環境が歩行者の横断判断に与える影響の分析

中島 航 (スタンレー電気)
吉川 大貴・府川 寿紗 (慶應義塾大学大学院)
藁谷 剛司 (スタンレー電気)
大門 樹 (慶應義塾大学)

311* クロスモーダル特性を考慮した前方映像提示型運転支援システムの感性評価

中野 塔莉 (上智大学大学院)
竹原 昭一郎 (上智大学)
坂本 秀樹 (アルプスアルパイン)

312 振動と注意対象の位置対応を利用したシートによる注意喚起方法の検討 (第3報)

上村 洋介 (京都工芸繊維大学大学院)
北川 哲也・古舞 隆司 (フォルテック)
西崎 友規子 (京都工芸繊維大学)

[12:10~14:50]

158 HMI II
HMI II

座長：蜂須賀 知理 (東京大学)

- 313 複数車線交差点における交通シナリオの確率的予測に基づく
-
- 右折意思決定支援の提案

石附 悠・奥田 裕之 (名古屋大学)
山口 拓真・伴 和徳
(トヨタテクニカルディベロップメント)
豊田 平司郎 (トヨタ自動車)
鈴木 達也 (名古屋大学)

- 314 フルブレーキバイワイヤ技術におけるブレーキ操作時の足関節
-
- 受動抵抗を考慮した設計手法

横山 智宏・伊藤 健悟・加賀 翔太郎・曾我 雅之
(トヨタ自動車)
吉武 宏・小竹 元基 (東京科学大学)

- 315 構造方程式モデリングを活用した安全運転促進のためのHMI
-
- 個人適合設計論

室谷 帆人 (香川大学)
吉田 恵美子 (あいおいニッセイ同和損害保険)
鈴木 桂輔 (香川大学)

- 316 スイッチ操作感触の心理量定量化モデル構築 (第4報)

坂本 秀樹 (アルプスアルパイン)
金 宣亨 (東北大学)
竹内 翔太 (アルプスアルパイン)
張 文玉・劉 淳琳・丁 一 (東北大学)
下村 尚登・佐藤 邦生 (アルプスアルパイン)
杉浦 元亮 (東北大学)

- 317 スイッチ操作感触の心理量定量化モデル構築 (第3報)

七枝 佑哉・坂本 秀樹 (アルプスアルパイン)
竹原 昭一郎 (上智大学)

- 318 A Study on a Quantitative Evaluation Method for
-
- Daytime Visibility of Automotive Interior Illumination
-
- Using CIELAB

Seong Uk Kim (Hyundai Motor)

中ホールB

[9:30~12:10]

159 ディーゼル燃焼 I
Diesel Combustion I

座長：林田 和宏 (北見工業大学)

- 319 高圧縮比大型ディーゼル機関における最適燃焼室形状および
-
- 高流量ノズルによる冷却損失低減

向山 智之・内田 登 (新エシイー)

- 320 畳み込みニューラルネットワークモデルを用いたディーゼルエン
-
- ジンの熱発生制御

-(第1報) 熱発生率推定と精度向上-

関口 亮・岡本 毅・小澤 恒 (いすゞ中央研究所)
柳内 滉洋・Ratnak Sok・草鹿 仁 (早稲田大学)

- 321 燃料の物理特性がディーゼルエンジンの噴霧と燃焼特性に
-
- 与える影響

-(第1報) ディーゼル噴霧の噴孔近傍における空気導入に及ぼ
す燃料物性の影響-小林 亮太・藍澤 岳斗・座間 淑夫 (群馬大学)
橋詰 剛 (トヨタ自動車)

- 322 燃料の物理特性がディーゼルエンジンの噴霧と燃焼特性に
-
- 与える影響

-(第2報) 燃料の物理特性が燃焼、排出ガス特性に与える
影響-遠藤 佑馬 (早稲田大学大学院)
志田 光希 (早稲田大学)
橋詰 剛 (トヨタ自動車)
草鹿 仁 (早稲田大学大学院)

- 323 数値熱流体計算と機械学習を組み合わせた大型ディーゼル
-
- エンジンの燃焼室形状の最適化手法の研究

松前 諒大・松田 知紘・草鹿 仁 (早稲田大学)

- 324 数値熱流体計算と機械学習を組み合わせた大型ディーゼル
-
- エンジンの燃焼室形状の最適化手法の研究

-設計意図を反映した最適形状の解析-

松前 諒大・松田 知紘・草鹿 仁 (早稲田大学)

[13:10~14:25]

160 ディーゼル燃焼 II
Diesel Combustion II

座長：中島 大 (日野自動車)

- 325 ディーゼルエンジンにおける水素酸素ガスの吸気添加による
-
- PM低減効果

春日井 貫太・加藤 尊史・武田 凌政・大西 凌馬・
栗田 健聖・西島 義明 (愛知工業大学大学院)

- 326 ディーゼル噴霧燃焼におけるホルムアルデヒド生成挙動の可視
-
- 化解析

裨島 利明・林 朋博・上田 佳紀 (SOKEN)
福田 晶・河内 隆史・筒井 優斗 (豊田自動織機)

- 327 ディーゼル機関における吸気ガス条件がすす粒子の炭素結晶
-
- 子サイズに及ぼす影響

竹内 真隆・山本 心優・黒島 悠 (北見工業大学大学院)
稲葉 一輝・林田 和宏 (北見工業大学)

[14:55~17:00]

161 新燃料 CI エンジン
Alternative-Fuel CI Engines

座長：鈴木 健太 (いすゞ自動車)

- 328 メタノール・軽油デュアルフュエルエンジンの燃焼特性に関する
-
- 研究

森田 慧・森脇 大翔 (早稲田大学)
小暮 涼介・田中 貴文
(三菱重工エンジン & ターボチャージャ)
古賀 智大 (三菱重工業)
草鹿 仁 (早稲田大学)

- 329 水素含有率に着目したバイオ燃料の煤生成への影響

加藤 尊史・春日井 貫太・武田 凌政・大西 凌馬・
栗田 健聖・西島 義明 (愛知工業大学大学院)

- 330 HVO混合割合が着火時期に与える影響

武田 凌政・大西 凌馬・加藤 尊史・栗田 健聖・
春日井 貫太・西島 義明 (愛知工業大学大学院)

- 331 DPFを備えたディーゼルエンジンを用いたバイオ混合燃料の
-
- 着火・燃焼特性評価

津田 稔・石田 雅照・山西 大 (水産大学校)
神部 典之 (ワーズリンク)
佐々木 秀次 (東京海洋大学)

- 332* 燃料物性値がディーゼル噴霧の形状におよぼす影響

有富 功大・駒田 佳介 (福岡工業大学)
山本 昌平 (大阪電気通信大学)
高津 康幸 (福岡工業大学)

特別会議場

[9:30~12:10]

162 振動・騒音・乗り心地 VI

Vibration, Noise, Ride Quality VI

座長：市川 佳 (本田技術研究所)

333 機械学習によるエアサスペンションの非線形振動応答のモデル化と性能予測

渥美 良宏・佐藤 恭一 (横浜国立大学)

334 機械学習を用いたショックアブソーバ用ピストンバルブの差圧・流量特性の予測手法

加藤 大入・呂 鵬・柱山 健二・原田 脩史 (Astemo)

335 サロゲートモデルを用いた伝達関数合成法によるタイヤ・サスペンション目標特性設定手法

秋間 奎人 (三菱自動車工業)

片山 拓人 (三菱自動車エンジニアリング)

河合 英樹・清野 裕之・竹谷 昌之 (三菱自動車工業)

336 機械学習モデル (LSTM) による乗員の頭部挙動推定技術に関する取り組み

西田 健二・河村 力・佐藤 大地・西村 啓人・

宮武 宏明・武田 健二・陳 宇・青木 智朗・

丸山 晃助・石川 亨 (マツダ)

337 機械学習モデルを活用したモータパラメトリック多性能最適化とロバスト検証

八川 晃一・安達 亮一・中山 遼太郎 (マツダ)

338 Optimization of an FCEV Air Exhaust System for Flow-Induced Noise Reduction and Cost Efficiency

Jong Yeol Lee・Seung Tae Gong・Jong Seung Won

(Hyundai Motor)

Hyun Soo Kim・Joon Ho Jang (SJG SEJONG)

[13:10~15:15]

163 振動・騒音・乗り心地 VII

Vibration, Noise, Ride Quality VII

座長：海老澤 弘道 (エステック)

339 キャリア周波数の変調制御がインバータ音の不快感に及ぼす影響

加曾利 拓真 (中央大学大学院)

金堂 雅彦・山口 雅夫・戸井 武司 (中央大学)

340 EVパワートレインの振動抑制に向けたバックラッシュ角オンライン同定に基づくバックラッシュ推定オブザーバの適応更新

川崎 磨那斗・坂本 登・中島 明 (南山大学)

341 ATにおける歯打ち挙動計測とバックラッシュのモデル化

森田 聖惇・今西 健介・鈴木 康太郎・近末 竜・

陳 宇 (マツダ)

342 電動パワートレインのモータベアリング打音

-(第1報) モータと減速機のシャフト挙動解析によるメカニズム解明-

近藤 慎平・小林 大介 (日産自動車)

中谷 貴典 (日産オートモーティブテクノロジー)

井田 徹・浅原 康之・児島 剛・松尾 宏 (日産自動車)

343 電動パワートレインのモータベアリング打音

-(第2報) 打音抑制のための設計手法構築-

小林 大介・近藤 慎平・浅井 亮之・橋本 真

(日産自動車)

川東 勇輝・田中 哲郎

(日産オートモーティブテクノロジー)

[15:45~17:50]

164 振動・騒音・乗り心地 VIII

Vibration, Noise, Ride Quality VIII

座長：吉田 準史 (大阪工業大学)

344 パネル設計における固有振動数の間隔の均等化

山田 皇 (岐阜大学大学院)

小西 敬三・飯田 州人 (本田技術研究所)

松村 雄一 (岐阜大学)

345 スパースな構造変更でBlocked Forceを低減する方法

森下 龍生 (岐阜大学大学院)

加藤 由幹 (高知工科大学)

松村 雄一 (岐阜大学)

346 加速時通過騒音の二峰性を考慮したタイヤ/路面騒音モデルの拡張

鈴木 直樹 (神奈川大学大学院)

白橋 良宏・山崎 徹・岩泉 佑花里 (神奈川大学)

和田 将行・守江 大祐 (日産自動車)

347 自動車用ダブルフェルト構造防音材の低バネ領域制御によるフェルト有効質量化と透過損失向上技術の開発

笠間 勘太・森崎 凌士・岩井 紳一郎 (ヒロタニ)

348 単純試験片を用いた積層コア・樹脂固定材を有するモータジェネレータ固定子構造の振動特性評価技術

青木 真悟・橋本 洋志・澤村 雄介・柳生 泰秀・

座間 一浩・山本 貴也 (トヨタ自動車)

201+202

[9:30~11:10]

165 交通・シミュレーション

Traffic and Simulation

座長：鈴木 宏典 (東洋大学)

349 実軌跡データに基づく合流意思決定モデルを組み込んだ大型車混在交通流シミュレーション環境の構築

新徳 顕大・荒木 伸太・齊藤 朋世・Tushar Shrotriya

(構造計画研究所)

古性 裕之・今長 久・中村 英夫 (日本自動車研究所)

藤本 浩 (日本自動車工業会)

350 高速道路本線部を自動運転車両が走行することを想定した合流支援システムの有効性検証

-(第1報) 自動運転車両の普及初期に実施できる支援方策の効果的な普及率-

今長 久 (日本自動車研究所)

新徳 顕大・荒木 伸太・Tushar Shrotriya・岡崎 凌太

(構造計画研究所)

中村 英夫 (日本自動車研究所)

藤本 浩 (日本自動車工業会)

351 個人特性を考慮したエージェントベースシミュレーションによる歩車混在空間の交通制御の検討

荒木 俊人・奥田 裕之 (名古屋大学)

伴 和徳 (トヨタテクニカルディベロップメント)

鈴木 達也 (名古屋大学)

352 長距離輸送用電気トラックの普及を考慮した充電インフラ最適配置モデルの開発

石井 宗一郎・安芸 裕久 (筑波大学)

【12:10～14:50】

166 ヒューマンエラー

Human Error

座長：平松 真知子（日産自動車）

- 353 ヒューマンエラー防止のための主体的行動変容の促進
-(第1報)高齢ドライバーの知覚・認知機能が戦略的運転行動に及ぼす影響の経年変化-
佐藤 稔久（産業技術総合研究所）
吉武 宏（東京科学大学）
合田 美子・戸田 真志（熊本大学）
小竹 元基（東京科学大学）
- 354 ヒューマンエラー防止のための主体的行動変容の促進
-(第2報)協調的リフレクションを通じた高齢ドライバーの安全行動変容プロセスの分析-
合田 美子・戸田 真志（熊本大学）
新目 真紀・半田 純子（職業能力開発総合大学校）
吉武 宏（東京科学大学）
佐藤 稔久（産業技術総合研究所）
小竹 元基（東京科学大学）
- 355 ヒューマンエラー防止のための主体的行動変容の促進
-(第3報)高齢ドライバーの運転行動変化を促す介入における効用提示の効果-
吉武 宏（東京科学大学）
郭 鐘聲（拓殖大学）
小竹 元基（東京科学大学）
- 356 ヒューマンエラー防止のための主体的行動変容の促進
-(第4報)運転行動分析のための車載カメラによるドライバ顔向き・視線・姿勢推定および視認対象物の可視化-
石原 稜大・山崎 彬人（名城大学）
吉武 宏・小竹 元基（東京科学大学）
- 357 ヒューマンエラー防止のための主体的行動変容の促進
-(第5報)大規模言語モデルによる交通環境文脈理解に基づく注意対象抽出とドライバ視認行動の統合のための基盤技術開発-
山崎 壮馬・山崎 彬人（名城大学）
吉武 宏・小竹 元基（東京科学大学）
- 358 高齢運転者の自己評価を適正化させる運転教育システムの構築とその効果
小竹 元基・井内 柊仁・吉武 宏（東京科学大学）
藤田 涼太・加藤 寛登（三菱プレジジョン）

【15:20～17:00】

167 視覚・注意

Vision and Attention

座長：関根 道昭（自動車技術総合機構）

- 359 運転映像視認時におけるアイセンタリング現象を用いた注意力低下判別
小川 洋明・浅見 克志（デンソー）
川守田 拓志（北里大学）
- 360 運転時のドライバー視線行動を利用した意図推定技術の構築（第1報）
山本 健太・古市 崇・後藤 輝・坪内 淳志（本田技術研究所）
- 361 DS実験による自動車ドライバの視野急変時の運転行動分析
-(第1報)視野急変再現方法とブラインドスポットモニタの有効性の検討-
三盛 優心（関西大学大学院）
伊藤 大輔（関西大学）
國行 浩史（公立諏訪東京理科大学）
- 362 車内固視時において前方視界の広さが車酔いへ与える影響
天野 真輝・樋口 和則・服部 義和（豊田中央研究所）

204

【9:30～12:10】

168 動力伝達系の最新技術 I

The New Technology for The Drivetrain Systems I

座長：小栗 昌己（SUBARU）

- 363 ハイブリッド車用トランスミッション油に及ぼす泡の影響
園田 修三（本田技術研究所）
- 364 マイクロバブルによる油膜すべり軸受の摩擦低減に向けた検討
-新規給油溝の適用と評価-
坂部 翔大・吉村 友輝・山崎 佑人・権田 晃生・川本 裕樹・畔津 昭彦・落合 成行（東海大学）
- 365* EHL計算によるエンジン用すべり軸受の焼付予測の研究
櫻井 真一・清水 章史・幸島 元彦（大同メタル工業）
- 366* EV駆動モータ用ベアリングの電食に及ぼす油膜厚さと潤滑油導電性の影響
瀬舘 知弘・前田 誠・加藤 豪・権田 友彦（ジャトコ）
小山 真司・南 斗和（群馬大学）
- 367 e-Axle用減速機ギヤの歯面損傷挙動に及ぼす潤滑油の影響
柳原 貴（出光興産）
- 368 Severity Analysis of m-LSD Differential Durability Test Using the Morrison Surface Fatigue Equation
Hwiun Lee・Daejin Kim・Seonghyun Son・Seungyong Bae（Hyundai Motor）

【13:10～16:15】

169 動力伝達系の最新技術 II

The New Technology for The Drivetrain Systems II

座長：佐藤 恭一（横浜国立大学）

- 369 大型FCVの回生ブレーキ作動不可時向け空気圧縮開放式補助制動装置
-(第6報)コンパクト化のためのロータリーベーン方式の提案-
天田 翔生・藤田 大樹・土屋 美海・藤田 壽憲・柴山 尚士（東京電機大学）
- 370 高回転・高出力・高減速比トラクションドライブの動力伝達特性試験機の開発
森田 夏輝・山本 建（東海大学）
- 371 セルフロック減速機構を用いた2輪用CVTの電動制御
上田 源士郎（法政大学大学院）
相原 建人（法政大学）
- 372 環境乱択に基づく深層強化学習制御とモデルベース制御の融合によるパワートレインの振動抑制
米沢 平成・米沢 安成・梶原 逸朗（北海道大学）
- 373 多層運行モードに対応可能な燃料電池ごみ収集車の変速制御最適化手法の構築
鮑 義達・高 佳カイ・張 翔・奚 佳晨・方 亦園・楊 伊翔・紙屋 雄史（早稲田大学）
- 374 EV用CVT制御マップの提案と各種走行モードでの比較検討
趙 漢卿・森吉 泰生・窪山 達也（千葉大学）
- 375* Development of a Virtual Performance Evaluation Model for New Multi-Mode Hybrid Powertrain System with RCP-HIL Validation
Myeong-Won Seo・Dohyun Park・Janghyeok Won・Beomho Lee・Taeho Park・Deokjin Kim（Korea Automotive Technology Institute）

【9:30~12:10】

170 衝突安全・人体傷害

Crash Safety, Injuries

座長：伊藤 大輔 (関西大学)

- 376 人体FEモデルを用いた前突スレッドシミュレーションによる腹部傷害評価に向けた検討

樋口 友樹 (日本自動車研究所)
増田 光利 (日本自動車工業会)
佐藤 房子 (日本自動車研究所)

- 377* 人体有限要素モデルを用いた前面衝突時のベルト経路条件に関する感度解析

西村 海飛・吉田 貴史・樹神 滋・齋藤 望 (東海理化)

- 378 前面衝突時における人体有限要素モデルの骨盤回転運動の分析

東 才晴・趙 雨晴・水野 幸治 (名古屋大学)
長坂 圭・鈴木 貴大・増田 出光 (スズキ)

- 379 機械学習を用いた前面衝突時における乗員下肢傷害指標 (Tibia Index) の予測

棚本 誠也 (山梨大学)
長坂 圭・増田 出光 (スズキ)
横山 優太 (ダイバーテクノロジー)
杉山 裕文 (山梨大学)
岡澤 重信 (山梨大学／ダイバーテクノロジー)

- 380 乗用車前面の形状とエネルギー吸収特性の関係

福山 慶介・一色 孝廣・三上 耕司 (日本自動車研究所)

- 381 年齢を考慮したD-Call Net死亡重症率アルゴリズムの効果検証

勝間田 静江・棚瀬 昇・安藤 貴裕 (トヨタ自動車)
影澤 英子 (交通事故総合分析センター)
長岡 靖 (トヨタ自動車)

【13:10~14:50】

171 空力I

Aerodynamics I

座長：寺門 晋 (トヨタ自動車)

- 382 実風況を考慮したソーラーカーの空力開発

小川 将虎・二ノ宮 孝仁・福田 紘大 (東海大学)
田中 博・金森 敬宗 (トヨタシステムズ)
佐川 耕平・木村 英樹 (東海大学)

- 383 Ahmed Body周りの流れにおける流れ形態の傾斜角とレイノルズ数依存性

-乱流モデルによる違い-

福岡 駿太 (東京都市大学大学院)
郡 逸平・白鳥 英 (東京都市大学)

- 384 VAEとPINNによる空力形状最適化

-SDFと点群を併用した方法-

正田 夏帆 (東京都市大学大学院)
白鳥 英 (東京都市大学)

- 385 実路走行とシャシダイナモメータにおける車両周りの空気流動に関する比較検証

川野 大輔 (大阪産業大学)
飯干 壮馬 (大阪産業大学大学院 (現タイハツ工業))
青山 一樹 (大阪産業大学)
高橋 利道 (明電舎)

【15:20~17:25】

172 空力II

Aerodynamics II

座長：白鳥 英 (東京都市大学)

- 386 自走式トンネル風洞Catesby Aero Research Facility (CARF)の概要

下山 浩・永野 弘樹・吉澤 慧・加藤 航・渡邊 圭一 (SUBARU)

- 387 運動で発生する動的空気力とその車両運動への影響

-風洞での実車加振試験-

前田 和宏・杉本 満・遠藤 康宏・山本 暁尚 (トヨタ自動車)

- 388 Wind Tunnel Evaluation of Combined Active Aerodynamic Systems on a CUV-type EV

Dong Ha Kim・Hak Lim Kim・Hong Hee Lee・
Jin Young Youn・Su Bok Kim・Suk Bom Son・
Woo Jae Kwon・Ju Wan Han・Woo Yul Baek (Hyundai Motor)

- 389 物流分野におけるCN実現に向けたトラック空力技術開発

日野 雄太・北沢 祐介・横原 孝文 (トヨタ自動車)

- 390 自動車空力開発における設計側拘束条件を考慮した逆問題設計手法の提案

吉永 裕輔・養父 拓也・濱本 直樹・奥津 泰彦・
橋本 紀公 (三菱自動車工業)

【9:30~12:10】

173 危険運転・ドライバ心理・電動キックボード

Traffic Danger, Driving Psychology and Electric Kick Board

座長：西本 哲也 (日本大学)

- 391 高速暴走車による自転車事故の危険性の評価

-交通事故統計の人身傷害分析から評価した高速暴走車両の自転車乗員への危険性-

関根 康史 (福山大学)

- 392 運転違反特性尺度 (TOTS)の妥当性の検証

-認知課題を用いた量的および質的検討-

小嶋 理江 (名古屋大学)
莊島 宏二郎 (大学入試センター)
岡村 和子 (科学警察研究所)
西澤 智恵子・松林 翔太 (トヨタテクニカルディベロップメント)

伴 和徳 (トヨタテクニカルディベロップメント／名古屋大学)

- 393 交通安全教育プログラム構築に向けた交通違反者の特性と行動の分析

西澤 智恵子・松林 翔太 (トヨタテクニカルディベロップメント)
小嶋 理江 (名古屋大学)
山口 拓真・伴 和徳 (トヨタテクニカルディベロップメント)

- 394* ITARDAマクロデータとTUATドライブレコーダーデータによる電動キックボードの事故分析

木内 透 (交通事故総合分析センター)
阿賀 正己 (東京農工大学)
石井 麻友 (交通事故総合分析センター)
大北 由紀子・永井 正夫 (東京農工大学)

- 395 ボンネット型自動車に正面衝突された電動キックボード乗員の衝突挙動の検討

大賀 涼 (自動車安全運転センター／東京都市大学)
櫻井 俊彰・大友 凌太郎 (東京都市大学)
上 裕樹 (東京都市大学大学院)
木戸 晶洋 (科学警察研究所)

396 誰にどんな支援が効くのか?運転支援の心理的効果に対する大規模横断研究

山崎 陽 (マツダ/弘前大学)
道田 奈々江・本田 正徳・大林 弘宗・古谷 庸介 (マツダ)
玉田 嘉紀・伊東 健・三上 達也・村下 公一・中路 重之 (弘前大学)

[13:10~15:50]

174 歩行者傷害・自転車乗員傷害

Pedestrian and Cyclist Injuries

座長: 松井 靖浩 (自動車技術総合機構)

397 歩行者事故マイクロデータにおけるボンネット先端高さと体幹部傷害との関係

後藤 司・江島 晋 (SUBARU)

398 高フードSUV歩行者保護における胸部受傷メカニズムの解析-車体反力によるTHUMS全身運動の変化-

飯塚 洋二郎 (トヨタ自動車)

植木 大空 (メイテック)

川島 潤司・今井 裕明・濱田 満寛・中根 裕司 (トヨタ自動車)

399 欧州における歩行者のGIDASを用いた傷害予測アルゴリズムの開発

郡司 泰明・長谷川 卓 (本田技術研究所)

吉田 傑 (SGR コンサルティング)

富永 茂 (日本大学)

400 医工連携の歩行者衝突事故CAEシミュレーションにおける精度向上の取り組み

徳山 美恵・安藤 貴裕・大西 浩史・棚瀬 昇 (トヨタ自動車)

木内 透・辻 武弘 (交通事故総合分析センター)

401 車両停車位置から見た衝突後の歩行者との位置関係について

鈴木 基継・西本 哲也 (日本大学)

本村 友一 (日本医科大学)

402 歩行者の即死性外傷を指標とした自転車乗員の受傷機序と身体重心の影響

石井 慎一・大野 靖雄 (千葉県警察本部)

小ホール

[9:30~12:10]

175 エンジン部品・潤滑油・トライボロジー I

Engine Components, Lubricants, Tribology I

座長: 菊原 浩司 (早稲田大学)

403 4ストロークディーゼルエンジンにおけるピストン剛性とピン回転に関する研究

関 健太郎・伊東 明美 (東京都市大学)

坪田 頼昌・三輪 純一 (いすゞ自動車)

404 ピストンスカートプロファイルまたはパターンコーティングにより付加された凹部内の油膜分布とスカート部摩擦損失

大島 潤平・佐藤 健太・川島 久宜・鈴木 秀和・石間 経章 (群馬大学)

405* ピストン形状変更によるピストンスカート潤滑性変化がピストン機能へ及ぼす影響

小林 邦彦・林 健太・小林 俊夫・小坂 裕樹・櫻井 渉 (アート金属工業)

406* ピストンTOPリング溝部における陽極酸化皮膜の平滑化

村上 春彦・藤田 昌弘・鈴木 慎也 (スズキ)

407 ピストントップリング溝の陽極酸化皮膜がなじみプロセスとオイル消費に与える影響

古溝 竜都・伊藤 俊輔・伊東 明美 (東京都市大学)
藤田 昌弘・村上 春彦 (スズキ)

408 オイル上がり経路解明のためのランド部オイル分布観察

竹中 亮・佐藤 健太 (群馬大学)

井田 徳昭 (三菱重工業)

川島 久宜・鈴木 秀和・石間 経章 (群馬大学)

[13:10~14:50]

176 エンジン部品・潤滑油・トライボロジー II

Engine Components, Lubricants, Tribology II

座長: 石間 経章 (群馬大学大学院)

409 冷却損失低減に向けた筒内遮熱膜および評価解析技術の研究

-(第3報)遮熱コーティングの熱特性評価II-

阿部 陽香・篠田 健太郎・木下 幸一・漆原 友則・

阿子島 めぐみ・久保田 英志・小熊 光晴 (産業技術総合研究所)

410 使用条件に依存したエンジンオイル中金属系添加剤の化学状態および構造変化

国須 正洋・李 茜・村田 大輔・中島 沙知・

富永 達哉 (東レリサーチセンター)

411 油膜せん断応力に基づくエンジン用ジャーナル軸受の摩擦低減技術

幸島 元彦・永田 真理・糸井川 寛・田村 忠教・

安田 絵里奈 (大同メタル工業)

412 内燃機関の実動時摩擦評価法の開発とクランク軸周りの摩擦低減検討

戸井田 一宣・小山 崇・大河 誠・小川 輝 (トヨタ自動車)

[15:20~17:00]

177 安全一般 II

Safety (General) II

座長: 大賀 涼 (自動車安全運転センター/東京都市大学)

413 渋滞時EyesOff機能がドライバの運転負担に与える影響評価-公道実車実験による検討-

塚田 竹美・佐藤 広歩・米満 竜太・福里 司 (本田技術研究所)

石橋 基範 (日本大学)

414 交通流の観測式に基づく密度推定型ACC制御則の提案

入江 喜朗・森本 知昭 (トヨタ自動車)

415 衝突実験後車両事象確認におけるフォトグラメトリを用いた三次元モデル化手法の有効性

橋本 透・中田 杏里 (本田技術研究所)

416 先進運転支援システム (ADAS)使用時の他車両の急接近に対する衝突回避性能に関する実験的考察

児島 亨・真鍋 裕輝・阿部 晃大・宅島 護・

北田 幸一 (自動車技術総合機構)

<学術講演会運営委員会 委員一覧>

委員長: 大門 樹 (慶應義塾大学)

幹事: 栗谷川 幸代 (日本大学)

委員: 飯田 一裕 (トヨタ自動車), 石間 経章 (群馬大学大学院), 市川 佳 (本田技術研究所), 伊藤 大輔 (関西大学), 大前 学 (慶應義塾大学), 加藤 晋 (産業技術総合研究所), 川下 宜郎 (日産自動車), 菊原 浩司 (早稲田大学), 木下 和人 (日野自動車), 後藤 史英 (デンソー), 佐藤 大二郎 (いすゞ自動車), 佐藤 恭一 (横浜国立大学大学院), 清水 修 (東京大学), 関根 康史 (福山大学), 西迫 隆志 (三菱自動車工業), 松浦 賢 (日本自動車研究所), 松原 豊 (名古屋大学), 森重 功一 (電気通信大学), 山本 研一 (マツダ), 山本 光夫 (SUBARU)

※敬称略

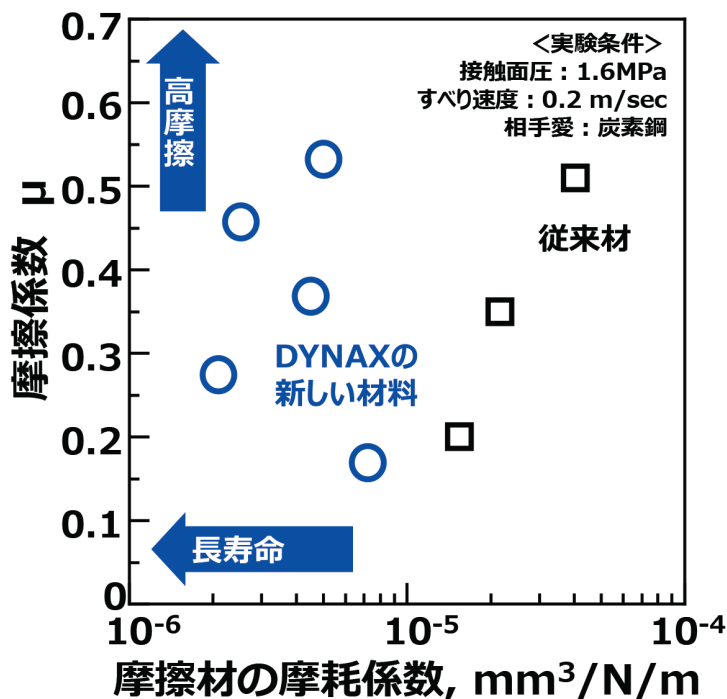
当社は、『オンリーワン』の価値を創造し続ける摩擦機能部品メーカーです。



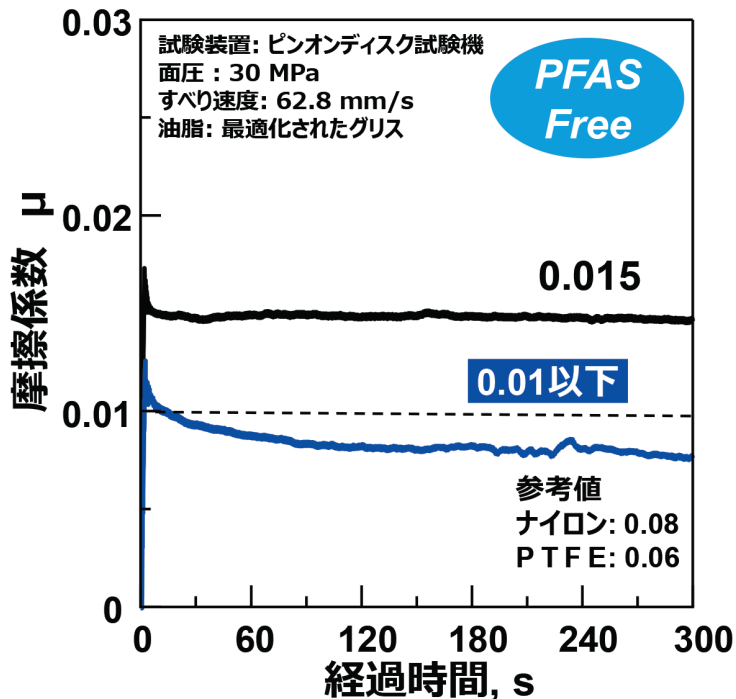
「未来を今に 独創性で世界に駆けるダイナックス」という企業使命感を胸に
研究開発 から 生産・販売 まで一貫体制 としたものづくりで
お客様に満足いただける製品を提供いたします。

次世代モビリティ向け摩擦・熱制御材料

Ex. 長寿命・高摩擦材料



Ex. 超低摩擦材 $\mu < 0.01$



* 数値は代表値であり、保証値ではありません。

ランチョンセミナーのご案内

紙づくり技術が拓く次世代モビリティ向け材料

登壇者：株式会社ダイナックス 商品開発本部
次長・博士（工学） 神田航希 氏

10:55~11:25
札幌コンベンションセンター
2階 207

定員：50名（先着順）

10 / WED
14

※昼食（お弁当）付き

事前申込制
（参加無料）
右記QRコードから
お申込みください。



〒066-0077

北海道千歳市上長都1053-1

TEL：0123-24-3247

<https://www.dynax-j.com>

ダイナックス
公式サイト



ALOM
WINERY



OHNUMA
CAMPAISE



わずか1ミリで機能する

トルクリミッタ

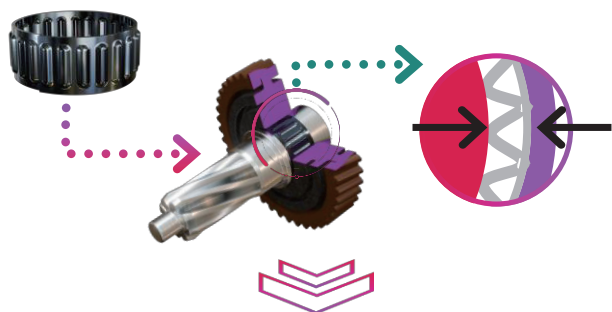


Rencol® トレランスリング

HOW IT WORKS ——— トルク制御から締結まで、シンプルな1部品で ———

遅延無し
× トルクリミッタ | Rレノール RENCOL®
過負荷保護

バネ設計と摩擦のコントロールが狙いのトルクを生み出す



小型・軽量化

約1mmという非常に小さなスペースで、既存の構造を大きく変えることなくトルクリミッタ機能を付加できます。



瞬時応答

シンプルな構造により、過負荷の発生時にも遅延なく瞬時にスリップし、トルクリミッタとして働きます。



組付け工程の短縮・安定化

シンプルな圧入工程だけで組付けが可能。量産プロセスの簡素化や歩留向上に貢献します。

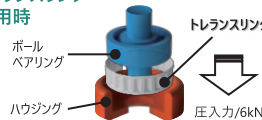


長寿命

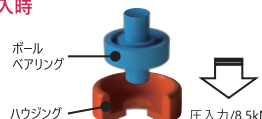
過負荷時にスリップすることで衝撃荷重の伝達経路を遮断し、ユニット全体を過大な負荷や損傷から保護します。

異種素材
× 締結 | Rレノール RENCOL®
確実な固定

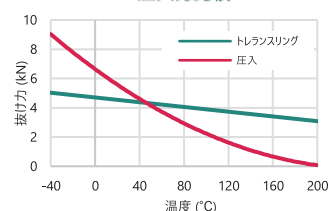
トレランスリング
使用時



圧入時



圧入力比較



ボールベアリング
- 608玉軸受
外径φ22mm、厚さ7mm

ハウジング穴径(材質 A5052)
- トレランスリングφ23.591±0.045
- 圧入φ22 N6(-0.011/-0.024)



軽量化

異種素材による熱膨張差の影響を抑え、高温でも安定した固定を実現。軽量材料の活用を促進します。



確実な固定

相手材の寸法公差や熱膨張を吸収し、固定力の低下を抑制。異種素材の締結も確実にいきます。



組付け工程の短縮・安定化

シンプルな圧入工程だけで組付けが可能。量産プロセスの簡素化や歩留向上に貢献します。



リワーク可

接着や溶接、一般的な圧入とは異なり、締結後も分解が可能で、条件に応じて周辺部品を再利用することができます。

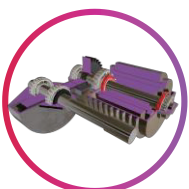
APPLICATIONS



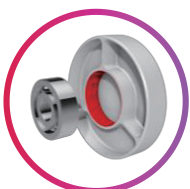
電動開閉システム
(トルクリミッタ)



EPSギアマウント
(トルクリミッタ)



E-Axle
(トルクリミッタ・締結)



ベアリングマウント
(締結)



ドローン
(締結)

10/14(水)-10/16(金) | JSAE 2026 秋季大会 併設展示会 | 札幌コンベンションセンター | エントランスホール
11/25(水)-11/27(金) | オートモティブワールド 2026 名古屋 | Aichi Sky Expo | ホールD | N11-63

※両展示会にて実物サンプルをご覧いただけます。

サンゴバン株式会社 EQYO

諏訪工場・長野県諏訪郡原村10801-5, 東京本社・東京都千代田区麹町3-7